

【 資 料 編 】

1. 名古屋市版レッドリストから削除された種
2. 維管束植物の県内分布表示に用いた区画の範囲と略称
3. 維管束植物の評価手法の選定理由
4. 維管束植物でリスト外と判定された種
5. レッドデータブックなごや2015 植物編に関するQ & A
6. 文献一覧
7. 執筆者及び協力者

1. 名古屋市版レッドリストから削除された種

前回の名古屋市版レッドリストに掲載されていた植物のうち、今回見直しを行った結果レッドリストから削除された植物の種名及び削除された理由は以下の通りである。

維管束植物

(2 種)

- ・アオウシノケグサ（イネ科、2010 年 EX） 誤同定であることが判明した。
- ・シロヤマシダ（メシダ科、2010 年 EN） 標本を検討したところ孢子のう群をつけていない個体で、稀少偶産種と見なすのが適切と判断された。

2. 維管束植物の県内分布表示に用いた区画の範囲と略称

区画区分は、市町村界を基礎に、二次メッシュに相当するほぼ 100km^2 を基準とし、 200km^2 を超える市町村は行政界、地形界、大型構造物などにより分割し、 50km^2 以下の市町村は合併するという方針で設定した。ただし、郡を超える合併は原則として避け、ある市町村を分割した区画の一つと他の市町村を合併することも避けた。2004 年版レッドデータブックと比較すると、市町村合併に伴い 13, 14, 53, 54, 55 の範囲が変更され、5 が西三河に移され、さらに相当数の区画の略称が変更されている。

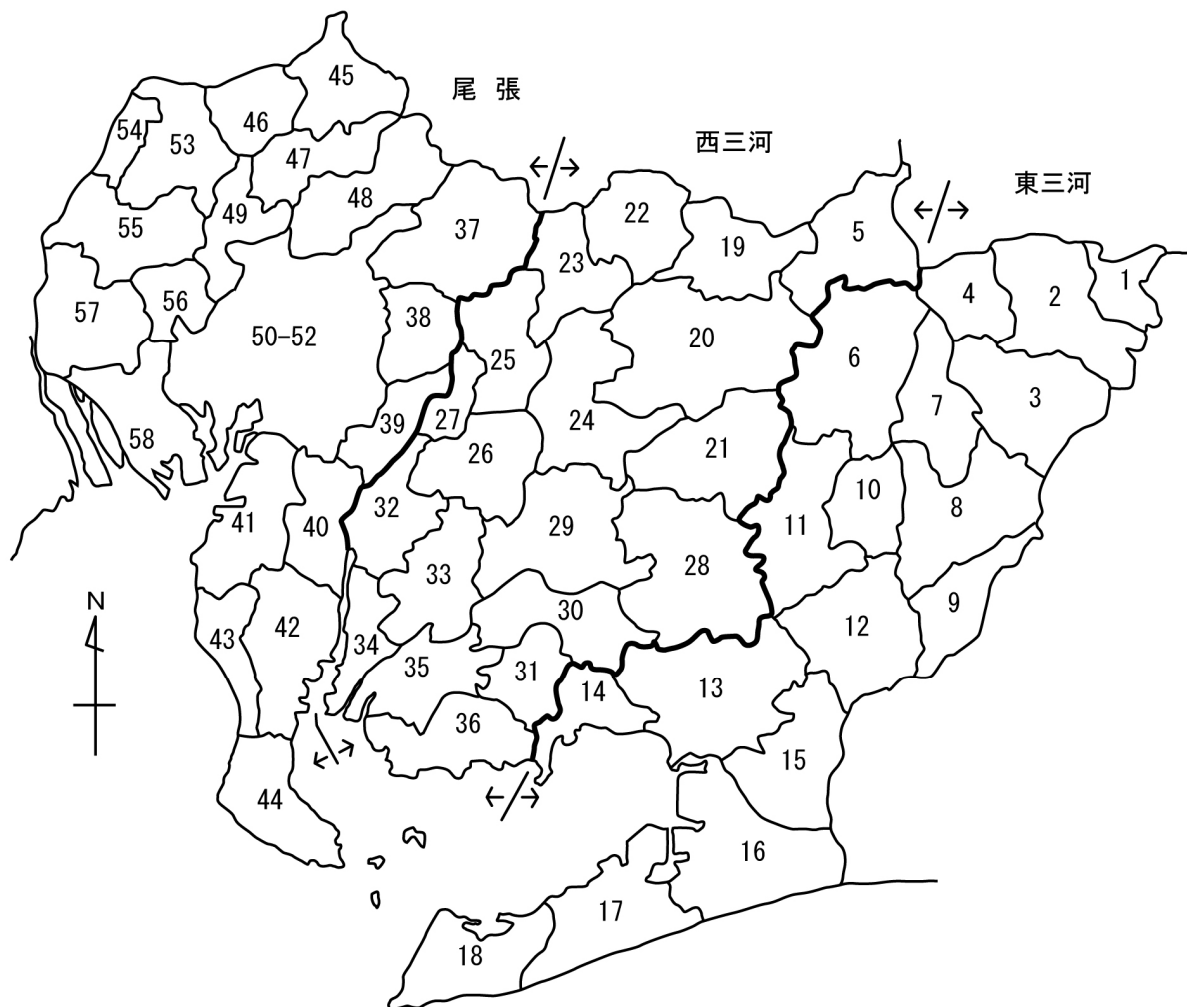


図1 県内分布区画図

表9 県内分布表示に用いた区画

地域	番号	略称	範囲
東 <			

3. 維管束植物の評価手法の選定理由

維管束植物においては、個体数、集団数、生育環境の減少傾向、人為的圧力の程度、県内分布の5項目についてそれぞれ4段階で評価し、その評価点の合計値をもとにカテゴリーを判定した。このような評価手法を用いた理由は、以下の通りである。

絶滅危惧生物各カテゴリーの判定基準としては、国際自然保護連合 IUCN (2001) により、およそ表 10 のようなものが示されている。

表 10 IUCN の基準の概略

カテゴリー	絶滅危惧 I A 類	絶滅危惧 I B 類	絶滅危惧 II 類
A : 10 年間または 3 世代の減少率	80%以上	50%以上	20%以上
B : 生育地面積	10km ² 未満	500km ² 未満	2,000km ² 未満
C : 減少率と 個体数の組合せ	25%以上で 250 未満	20%以上で 2,500 未満	10 以上で 10,000 未満
D : 成熟個体数	50 未満	250 未満	1,000 未満
E : 絶滅確率	10 年間または 3 世代で 50%以上	20 年間または 5 世代で 20%以上	100 年間で 10%以上

これらの基準のうちでは、絶滅確率を示す E 基準が最も本質的なものである。しかし現実には、絶滅確率を正確に求めることは容易ではない。そこで、補助的な基準として個体数、減少率、生育面積などによる A～D 基準が設置されており、各基準で評価された結果の中で最も高位のものをその種の評価とすることになっている。ただし植物の場合は、生育面積はそれを個体のレベルでとらえるか、群落のレベルでとらえるか、それとももっと大きな地理的分布のレベルでとらえるかによって数値が全く違ってしまい、使用しにくい。また個体数と減少率は、両者を組み合わせることによってその種の将来の運命が一義的に予測できるから、別の基準とする必要はない。そこで環境庁 2000 年版レッドデータブックでは、A、C、D を組み合わせた基準と E 基準を用いて、各種の評価が行われた（環境庁 2000、矢原 2002）。環境庁版の ACD 基準は、図 2 で示すことができる。

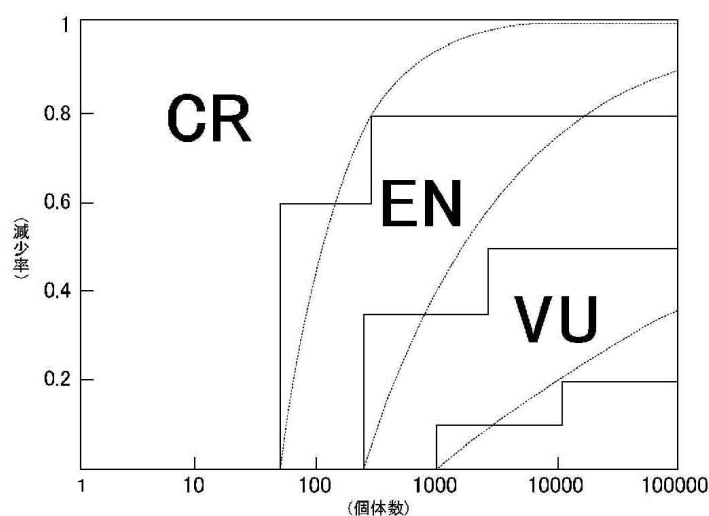


図 2 環境庁版 ACD 基準（曲線）と IUCN の A, C, D 基準（折れ線）の関係

しかしながら、環境庁版のA C D基準やE基準計算法にはいくつかの論理的な、あるいは技術的な問題点があり（芹沢 2003a）、少なくともそのままの形で都道府県、あるいは市町村のような小地域のレッドデータブックに適用することは適切でない。そこで愛知県 2001 年版レッドデータブックでは、現存個体数と減少率、再侵入確率を、5つの評価項目によって点数化し（表 11）、それらの合計点をもとに、原則として総点 16 以上を絶滅危惧 I A 類、14～15 を絶滅危惧 I B 類、12～13 を絶滅危惧 II 類、11 を準絶滅危惧、10 以下をリスト外と判定するという手法を採用した（愛知県 2001、芹沢 2003b）。

表 11 愛知県版レッドデータブック（維管束植物）で用いられた評価基準

評価点	4	3	2	1
個体数	10 未満	100 未満	1,000 未満	1,000 以上
集団数	1～2	3～5	6～15	16 以上
生育環境の減少傾向	著しく減少 ・自然湿地・草地 ・やせ山・砂浜 ・石灰岩地の岩場 ・塩湿地・湿田 ・貧栄養水域 ・平野部の非汚染水域 など	やや減少 ・自然林 ・二次林 ・石灰岩地以外の岩場 ・平野部以外の非汚染水域 など	増減なし ・造林地 ・外洋 非汚染水域と過栄養水域の中間的環境 など	増加 ・攪乱地 ・整理済水田 ・過栄養水域 など
人為的圧力の程度	極めて強い ・極度に強い開発圧または採取圧がある ・開発圧も採取圧もあり、少なくともどちらかが強い	強い ・強い開発圧または強い採取圧がある ・開発圧も採取圧もある	あり ・開発圧（伐採を含む）または採取圧（可能性を含む）がある	なし
地域固有性	強い ・固有種 ・著しい隔離分布	やや強い ・全国的に少なく、分布の限界 ・準固有種	弱い ・隣接地に多いが、分布の限界 ・全国的に少ない	なし ・隣接地に多く、分布の限界でもない

そこで名古屋市 2004 年版レッドデータブックにおいては、上位リストとの整合性を確保するという観点から基本的な評価手法は愛知県のものを踏襲し、個体数、集団数、生育環境の減少傾向、人為的圧力の程度、再侵入確率の 5 項目を点数化して総合する手法で行った。ただし、個体数、集団数の数値基準は、対象面積が狭くなったことにあわせて、ほぼ 1 ランクずらせた。生育環境の減少に関する具体例は、名古屋市での実態にあわせて、一部修正した。再侵入確率の指標としては、可能な限り数値基準を示すことができる指標を用いることが望ましいので、地域固有性の代わりに県内の分布区画数を用いた。また、藤井（2002）の指摘するスケール依存のパラドックスを補正するため、固有度補正項を加えた。その結果作成されたものが、9 頁表 3 に示した評価基準である。今回の 2015 年版レッドデータブックでも、2004 年版との整合性を確保するため、この手法がそのまま使用されている。

<引用文献>

- 愛知県. 2001. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブックあいち・植物編 2001. 同県環境部自然環境課.
- 藤井伸二. 2002. 地方版レッドデータブックの成果と問題点. 種生物学会編：保全と復元の生物学ー野生生物を救う科学的思考 pp.95-107. 文一総合出版, 東京.
- IUCN. 2001. IUCN Red Rist Categories, versioi 3.1. IUCN.
- 環境庁. 2000. 日本の絶滅のおそれのある野生生物 -レッドデータブック- 8 植物 I (維管束植物). 自然環境研究センター, 東京.
- 芹沢俊介. 2003a. 維管束植物レッドデータブックの課題 (1) 環境庁 2000 年版レッドデータブックの意義と問題点. 分類 3:141-148.
- 芹沢俊介. 2003b. 維管束植物レッドデータブックの課題 (2) 地方版レッドデータブックの評価手法とチェック項目. 分類 3:149-158.
- 矢原徹一. 2002. 植物レッドデータブックにおける絶滅リスク評価とその応用. 種生物学会編：保全と復元の生物学ー野生生物を救う科学的思考 pp.59-93. 文一総合出版, 東京.

4. 維管束植物でリスト外と判定された種

今回調査対象とした維管束植物種の中で、本書のレッドリスト、または国・県リストに収録されなかったものと、その理由は以下の通りである。ユウガギクについては、確実な資料が得られた場合は、リスト掲載種に準ずるものとして取り扱う必要がある。レッドリストに収録されておらずここにも掲載されていない種は、未評価である。環境影響評価などの際に未評価種が記録された場合は、それらが品種レベルの植物、雑種性植物、外来種、あるいは明らかな普通種でない限り、レッドリスト収録種に準ずるものとして取り扱う必要がある。

小葉類	ヒカゲノカズラ科	ミズスギ	評価点 10 以下
シダ植物	ヒメシダ科	イブキシダ	希少偶産種
シダ植物	メシダ科	タニイヌワラビ	希少偶産種
シダ植物	メシダ科	ヒカゲワラビ	希少偶産種
シダ植物	メシダ科	シロヤマシダ	希少偶産種
シダ植物	オシダ科	キヨスミヒメワラビ	希少偶産種
シダ植物	オシダ科	オシダ	希少偶産種
シダ植物	オシダ科	イワヘゴ	希少偶産種
シダ植物	オシダ科	ジュウモンジシダ	希少偶産種
シダ植物	シノブ科	シノブ	評価点 10 以下
シダ植物	ウラボシ科	マメヅタ	評価点 10 以下
被子植物・初期分岐群	ウマノスズクサ科	ヒメカンアオイ (ゼニバサイシンを含む)	評価点 10 以下
被子植物・初期分岐群	モクレン科	ホオノキ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	オモダカ科	ウリカワ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	ヤマノイモ科	カエデドコロ	希少偶産種
被子植物・単子葉類	イヌサフラン科	ハウチャクソウ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	ラン科	エンシュウムヨウラン	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	ラン科	コ克蘭	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	ラン科	オオバノトンボソウ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	ヒガンバナ科	キツネノカミソリ	希少偶産種
被子植物・単子葉類	キジカクシ科	ミズギボウシ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	ガマ科	コガマ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	ホシクサ科	ホシクサ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	イグサ科	ヤマスズメノヒエ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	カヤツリグサ科	ヤガミスゲ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	カヤツリグサ科	オオシマカンスゲ	逸出
被子植物・単子葉類	カヤツリグサ科	ノゲスカスゲ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	カヤツリグサ科	チャイトスゲ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	カヤツリグサ科	シロガヤツリ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	カヤツリグサ科	アオテンツキ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	カヤツリグサ科	ミカヅキグサ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	カヤツリグサ科	ウキヤガラ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	カヤツリグサ科	ヒメホタルイ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	カヤツリグサ科	コマツカサススキ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	カヤツリグサ科	コウキヤガラ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	イネ科	ウシクサ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	イネ科	ムツオレグサ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	イネ科	コウボウ	資料不十分
被子植物・単子葉類	イネ科	ハイチゴザサ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	イネ科	エゾノサヤヌカグサ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	イネ科	オギ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	イネ科	ススキ	評価点 10 以下
被子植物・単子葉類	マツモ科	マツモ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	ケシ科	キケマン	評価点 10 以下

被子植物・真正双子葉類	キンポウゲ科	ボタンヅル	希少偶産種
被子植物・真正双子葉類	アワブキ科	アワブキ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	ユキノシタ科	ヤマネコノメソウ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	マメ科	クズ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	バラ科	ビロードイチゴ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	バラ科	コゴメウツギ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	クロウメモドキ科	クマヤナギ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	イラクサ科	ラセイタソウ	移入
被子植物・真正双子葉類	イラクサ科	オオサンショウソウ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	ブナ科	ツブラジイ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	ブナ科	アベマキ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	カバノキ科	ヤマハンノキ	希少偶産種
被子植物・真正双子葉類	ヤナギ科	イイギリ	逸出
被子植物・真正双子葉類	ヤナギ科	ネコヤナギ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	ヤナギ科	オオタチヤナギ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	ヤナギ科	コゴメヤナギ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	ムクロジ科	カラコギカエデ	逸出
被子植物・真正双子葉類	アオイ科	ラセンソウ	希少偶産種
被子植物・真正双子葉類	アブラナ科	ハマダイコン	帰化
被子植物・真正双子葉類	ビャクダン科	ヒノキバヤドリギ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	タデ科	シンミズヒキ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	タデ科	シロバナサクラタデ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	タデ科	サデクサ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	モウセンゴケ科	トウカイコモウセンゴケ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	ツルナ科	ツルナ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	ミズキ科	クマノミズキ	希少偶産種
被子植物・真正双子葉類	サクラソウ科	イズセンリョウ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	ツツジ科	コバノミツバツツジ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	アカネ科	アカネ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	リンドウ科	ハルリンドウ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	キョウチクトウ科	コバノカモメヅル	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	オオバコ科	サワトウガラシ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	オオバコ科	アブノメ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	シソ科	コムラサキ	逸出
被子植物・真正双子葉類	キキョウ科	ツリガネニンジン	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	キク科	タカアザミ	希少偶産種
被子植物・真正双子葉類	キク科	ハハコグサ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	キク科	スイラン	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	キク科	ノニガナ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	キク科	ユウガギク	資料不十分
被子植物・真正双子葉類	キク科	ヨメナ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	キク科	コオニタビラコ	評価点 10 以下
被子植物・真正双子葉類	キク科	ニホンタンポポ	評価点 10 以下

5. レッドデータブックなごや2015 植物編に関するQ & A

Q1：レッドリスト掲載種は、希少種と考えてよいか。

A1：レッドリストは、それぞれの種に対して現在加えられている圧力が将来もそのまま継続すると仮定した場合、その種の絶滅リスクがどの程度であるかという観点から評価が行われています。そのため、リスト掲載種はかならずしも希少種というわけではありません。例えば、以前からごく普通に見られ現在もまだかなりの個体数が存在している種Aでも、減少傾向が著しくこのまま減少した場合は、もともと希少であったが減少傾向が著しくない種Bよりも早く絶滅してしまうと考えられます。このような場合、種Aは種Bよりも高いランクに評価されます。ただし、生育地点が限られているという意味で希少な種は、たとえ今まで特に減少していなくても、その場所が何かの事情により破壊されれば容易に絶滅してしまう可能性があります。このように存続の基盤が脆弱な種は、その点も考慮して評価が行われています。

Q2：レッドデータブックで上位カテゴリーに属するとされた種ほど、保全上の重要性も大きいと考えてよいか／保全上の重要性は、レッドリストの評価に反映されているか。

A2：レッドデータブックは、自然環境保全のための基礎資料として作られています。それなら保全上の重要性に基づいてランク分けをしたらよいではないかと思う人も多いと思いますが、実は個々の種の保全上の重要性は、レッドリストの評価では考慮されていません。レッドリストの評価は、その種が名古屋市内から絶滅するリスクがどの程度かということだけに基づいて行われています。つまり保全上の重要性は、必ずしもレッドリストの評価とは一致しません。

なぜ保全上の重要性を考慮しないかというと、保全上の重要性は、必ずしも一義的に決定できないからです。例えばマメナシは、名古屋市内にはまだ数十株はあり、さしあたり風前の灯という状況ではありません。今回の評価は絶滅危惧ⅠB類です。名古屋市内の生物多様性だけを考えるならば、市内に1本しかない樹木の方が重要です。しかしマメナシは、おそらく日本全体に現存する個体の過半数が名古屋市に生育しています。名古屋市での絶滅は、日本全体での絶滅に直結します。日本全体の生物多様性を保全するために名古屋市民が負うべき責務という観点に立てば、マメナシはまだ数十株あると言っても、名古屋市内には1本しかないが周辺の山地にはたくさんある樹木より、はるかに保全上の重要性が高いでしょう。

更に保全上の重要性は、植物とは無関係な他の価値観にも依存します。きれいな（きれいかどうかは人間の主観の問題で、植物とは無関係です）花の咲く植物は、花の目立たない植物より保全上重要だという考え方もあるでしょう。「この場所は多くの市民に利用されているから、そこにある植物は他の場所にあるものと違って特に重要だ」というように、利用価値という観点からの判断もあるでしょう。このようなことを考慮していたら、評価の中立性が保てません。東海地方固有、分布域の限界、あるいは愛知県では生育地がきわめて少ないなどの理由で特に保全上重要と判断される種については、名古屋市における維管束植物の概要の項とそれぞれの種の解説の中で、評価結果とは別に記述してあります。

（執筆者 芹沢俊介）

Q3：名古屋市で179種が絶滅危惧Ⅱ類というのは、多すぎないか。

A3：絶滅危惧Ⅱ類の基準は、100年後の絶滅確率が10%以上です。絶滅危惧種179の10%は、18種にすぎません。100年前、すなわち大正初期以降現在までの名古屋市域の変貌を考えてみてください

い。「藤が丘まで地下鉄を延ばしても、キツネかタヌキしか乗らんがや！」と悪口を言われたのも、そんなに昔の話ではありません。名古屋市のような大都市で、現在以上の追加的な保護対策が何もとられないとしたら、100年後に18種しか絶滅しないと考えるのはむしろあまりにも控え目な見積もりでしょう。このままでいったら100年後には179種全部が絶滅すると考えても、まだ控え目かもしれません。上位カテゴリーに評価された種の存在を考慮しても、間違っても多すぎるということはありません。

(執筆者 芹沢俊介)

Q4：レッドリスト掲載種が前のレッドリストと比較して増加しているのは、名古屋市の環境がこれだけ悪化したという意味か。

A4：必ずしもそうではありません。維管束植物については、今回増加した絶滅危惧種の大部分は、調査が進展した結果名古屋市域で新たに生育が確認された種、あるいは研究が進展した結果今まで一つの種とされていたものが複数の種に分割されて、分割後のそれぞれの種について生育状況を再検討した結果、一部がリストに掲載されたというものです。また、今回新たにコケ植物を調査対象に加えたため、その分全体の掲載種数が増えています。

今回のレッドリストでも、名古屋市域に生息・生育する全ての生物群が調査対象となっているわけではありません。調査対象になっていない生物群は、「名古屋市域における絶滅危惧の程度が未評価」です。また、調査対象になっている生物群でも、全てについて十分な調査ができていないわけではありません。レッドリストは、残念ながら「これが名古屋市域の絶滅種／絶滅危惧種の全てだ」というものにはなっていません。「名古屋市域の絶滅種／絶滅危惧種には少なくともこのようなものがある」という性格のものだと思ってください。

Q5：名古屋市のレッドデータブックは、名古屋市独自の基準で作ればよいと思う。なぜ国際基準や国の基準を考慮するのか。

A5：名古屋市のレッドデータブックは、絶滅危惧種に関する広範な情報ネットワークの一部をなすものです。それぞれの地域がそれぞれの基準でレッドデータブックを作成すると、情報の互換性が保証されないため、名古屋市のレッドデータブックは、国、あるいは愛知県のリストと整合性を持つように評価基準を設定し、実際の評価を行っています。

Q6：固有性や隔離分布、分布の限界などは植物の学術上の貴重性であり、絶滅危惧の程度とは関係ないのではないか。

A6：世界全体、あるいは島国である日本全体の場合と異なり、愛知県、あるいは名古屋市のような隣接地と地続きの地域では、植物はしばしば周辺域から分布を拡大してきます。その場所で一度絶滅しても、周辺から再度侵入してくれば、絶滅したことにはなりません。固有性、隔離分布、分布の限界などは、この再侵入確率に関係します。固有種、隔離分布種、あるいは分布域の限界にあたる種は、一度絶滅してしまったら再度侵入してくる可能性が低いため、相対的に絶滅リスクが大きく見積もられます。一方名古屋市では希少だが周辺地にはたくさんあるという植物は、現在あるものがなくなる可能性が大きいにもかかわらず再侵入の可能性も大きいいため、相対的に絶滅リスクが小さく見積もられます。

(執筆者 芹沢俊介)

Q 7 : 維管束植物の種の配列は、「レッドデータブックなごや 2010 -2004 年版補遺-」とも、一般的な図鑑類とも全く異なっている。どうしてこのような配列を採用したのか。

A 7 : 維管束植物の種は、現在発行されている一般的な図鑑類では、新エングラー分類系というシステムに従って配列されています。この分類系はいろいろ問題点があることがわかっていたのですが、どう変えたらよいかとなると定説がなく、今まで広く使われてきました。しかし、最近の分子系統学的な研究の結果、生物の系統関係が正確に推定できるようになり、被子植物についてもその成果が 2009 年に APGIII 分類系としてまとめられました。この分類系は、今後の研究によってまだ多少修正される可能性はありますが、大筋では被子植物の系統関係を正しく反映していると思われます。愛知県の維管束植物標本を最も多く保管している愛知みどりの会標本室では、2013 年に標本配列を思い切ってこの分類系に切り替えました（国内の主要標本室の中では、国立科学博物館がすでに配列を切り替えています）。それに伴い、愛知みどりの会の標本が基礎となっている各種資料でも、「レッドリストあいち 2015」を含めて、2014 年から新しい分類系を採用することになりました。

新しい分類系は、当面は不慣れなため、とても不便だと思います。執筆者自身も、「あれ、この植物はどこに行ってしまったのだろう」と戸惑うことがあります。しかし将来的には、各種文献は全てこの分類系に切り替えられ、新エングラー分類系を使う人はいなくなると思われます。それならば、早く新しい分類系に慣れる方が得策です。ご理解をお願いします。（執筆者 芹沢俊介）

Q 8 : 名古屋城のツメレンゲは移入された可能性があり、「レッドデータブックあいち 2009」でもその旨記述されている。それならば名古屋市での評価は絶滅危惧Ⅱ類ではなく、国・県リストになるのではないか。

A 8 : ご指摘の名古屋市のレッドリストと愛知県のレッドデータブックのずれは、安全原則（よくわからないものは、安全側に評価する）によるものです。名古屋城のツメレンゲは確かに移入の疑いがありますが、名古屋城しか生育地が知られていない名古屋市の場合は、自生の可能性をもとに評価されています。しかし名古屋城以外に確実な自生地がある愛知県の場合は、名古屋城のものを除いたらどうなるかが付記されています。（執筆者 芹沢俊介）

Q 9 : ウラギクは、2013 年秋には 1 カ所で 3 個体しか見ることができなかった。絶滅危惧ⅠB 類ではなく絶滅危惧ⅠA 類と評価すべきではないか。

A 9 : ウラギクは、今回のレッドデータブックでは個体数階級 3、集団数階級 4 として評価されています。庄内川河口部をくまなく調査することは困難ですが、仮に 3 個体が現存する全てであったとしても、絶滅危惧ⅠB 類という評価は変わりません。また、ウラギクは多少攪乱された場所によく生育する植物ですから、近年の減少は攪乱の減少によるものであり、軽度の攪乱があれば個体数は回復すると推定されます。そのため確認個体数が 0 になったとしても、生育環境が大幅に改変されない限り、他種とのバランスから定性的に絶滅危惧ⅠB 類と評価されると思われます。

（執筆者 芹沢俊介）

Q 10 : ナガバノイシモチソウは、守山区に播種され、生育している場所がある。それなのになぜ「絶滅」と評価されたか。

A 10 : レッドデータブックは、本来の生育地での生育状態が評価対象です。移植等により本来の生育地と異なる場所に生育しているものは、国際自然保護連合の指針により、一見自生状態になってい

ても「野生絶滅」と判定することとされています。自然の中に人為的に移植された植物は、いかに希少種であっても、外来種として扱われます。
(執筆者 芹沢俊介)

Q 1 1 : 今回のレッドリストを見ると、市内での最新の状況が十分把握されていないように思われる。もっと多くの人に調査に参加してもらったらどうか。

A 1 1 : 「市内をくまなくきちんと調査したか」と問われれば、それは残念ながら否と答えざるを得ません。今回の見直し調査期間を通して、私たちはできる限り現地調査を行ったつもりですが、維管束植物は種類数が多い（レッドデータブック掲載種の約半分を占める）のに調査者の人数が少なく、高齢化も進んでおり、更に名古屋市は植物の生育密度が低くて調査の効率が悪いいため、市内全域を十分調査するには至りませんでした。過去に記録があるものについても、特に東谷山や庄内川河口部のような近年大幅な地形改変が行われていない場所に生育している種については、どうしても再確認が後回しになってしまいました。新たに調査に参加してくださる人を求めてなごや生物多様性センターで説明会も開きましたが、実際に調査に参加してくださった方は多くありませんでした。植物が絶滅する前に、植物を調査する人が絶滅しそうだ。これは笑えない現実です。

維管束植物は肉眼で容易に観察できるだけでなくよい図鑑類も多数発行されていますから、調査自体は誰でもいつでも行うことができます。標本の作成も、多少面倒ですが、特別な道具が必要というわけではありません。野外を歩いていて「これは」と思う植物に出会ったら、是非とも標本を作成し、なごや生物多様性センターにお寄せください。重要なのは、そのような日常的調査活動です。今回のレッドデータブックも、その相当部分は「レッドデータブックのための調査」を意識せずに蓄積された標本をもとに作成されています。
(執筆者 芹沢俊介)

Q 1 2 : 写真は証拠資料にならないのか。

A 1 2 : 実際に写真被写体の植物の同定を試みればすぐわかることですが、写真ではたいいていの場合細部がわからず、正確な種名が判定できません。しかも、写真はしばしば撮影場所や撮影年月日などのデータが明確でなく、十分な資料性がありません。図書として印刷されていない場合は、永続性という点でも問題があります。もちろん文字の記録しかないというよりはるかにましで、今回のレッドデータブックなごや・植物編でも絶滅種の一部は写真資料に依存していますが、一般的には写真は十分な証拠資料にならないと考えるべきです。

そのようなわけで、「これは」と思う植物に出会った時には、面倒でも必ず標本を作成し、なごや生物多様性センターなどに寄託して下さい。この手続きを怠ると、折角の観察結果が、公共の資産として活用できません。必要な時に標本を作成しない人は、本人の心情としてはともかく、客観的には自然を踏みつぶして歩くだけの山荒らしにすぎません。

(執筆者 芹沢俊介)

Q 1 3 : 調査対象分類群として新たにコケ植物を追加したのはなぜか。また、他の分類群を追加しなかったのはなぜか。

A 1 3 : コケ植物は、愛知県のレッドデータブックでは2001年版から掲載されているため、以前から名古屋市のレッドリスト・レッドデータブックの調査対象分類群に加えることが検討されていました。この度幸いにして成田務氏にご協力いただけることになりましたので、検討会委員に加わっていただき、調査と評価を行いました。他の分類群についても、その群全体について、また名古屋市全域

について十分な生息・生育情報が蓄積されていることが判明すれば、調査対象分類群に追加し、評価を行うことを検討したいと考えています。

Q 1 4：絶滅が心配されている植物を近くの湿地に植え込んで増やしたい／昔あったがなくなってしまった植物を植え込んで復活させたいが、どうだろうか。

A 1 4：生物の分布には歴史性があります。もともとないものは、ない状態がその場所の自然です。わかりやすい例で説明すると、セイタカアワダチソウはもとアメリカにあって、日本にはありません。クズはもと日本にあって、アメリカにはありません。セイタカアワダチソウが日本に入りクズがアメリカに入れば、それぞれの地域にある植物の種類数は増加しますが、「セイタカアワダチソウがなくクズがある自然」と「クズがなくセイタカアワダチソウがある自然」の多様性は失われてしまいます。そのようなわけで最近はこの移入防止が、生物多様性保全の重要な課題になっています。どのような植物でも、自然の中にそこにもととなかったものを持ち込むことは避けるべきです。

昔あったがなくなってしまった植物を持ち込むことも、原則として避ける方がよいでしょう。生物の集団には遺伝的な分化があり、同じ種でも違う場所のものは違うものと考えべきです。厳密にその場所にあったものを植え戻す場合でも、なくなったのは原因があるはずで、その原因を取り除かずに持ち込んだら、絶滅が繰り返されるだけです。植えるときの踏み荒らしなど、現在残っている自然に対する悪影響も深刻です。病虫害の持ち込みや遺伝的単純化などで、かろうじて残っていた自然集団に対する「最後のとどめ」となってしまうこともあります。自然には自然の回復力があります。生物多様性の保全で重要なのは、特殊な場合を除けば、実は個体の保全ではありません。生育環境を保全し、彼等が昔からのやり方で生き続けるのを側面から援助することです。

(執筆者 芹沢俊介)

6. 文献一覧

(1) 維管束植物

世界の分布以外は、原則として文献によらず、現地調査と標本および聞き取り調査に基づき記述した。世界の分布は、その種に関する各種文献を総合して記述した。一部の絶滅種等やむを得ず文献によった項目については、出典を各種の解説中に示した。評価手法に関する引用文献は、365 頁に掲載した。

(2) コケ植物

原則として、世界の分布については、岩月（編）（2001）に基づき、国内の分布については、Iwatsuki（2004）に基づいて記述した。県内の分布については採集標本及びその種に関する文献を総合して記述した。市内の分布については、タカサゴソコマメゴケを除き、全て執筆者の採集標本により記述した。

- ・岩月善之助（編）．2001．日本の野生植物コケ．平凡社，東京．
- ・Iwatsuki, Z. 2004. New Catalog of the Mosses of Japan. Hatt.Bot.Lab, Nichinan.

7. 執筆者及び協力者

レッドデータブックの作成に当たり、次の方々に執筆、調査、写真の提供等に協力していただいた。

(敬称略、五十音順)

【執筆者】

① 維管束植物

芹沢俊介 中村 肇

② コケ植物

成田 務

【調査、写真提供等協力者】

① 維管束植物

原則として、協力の意志があったか否かにかかわらず、今回の調査の基礎になった愛知みどりの会またはなごや生物多様性センターの標本室に5点以上の名古屋市産標本がある採集者をもって、調査協力者とした。

飯尾俊介	一井尚子	伊藤晶子	伊藤昭康	伊藤泰輔	犬飼 清
猪俣佳江	今尾由美子	岩田妙子	梅本洋子	太田由美子	鬼頭洋子
小林元男	榊原 靖	沢井輝男	柴田美子	白谷美代子	白谷由紀子
須賀瑛文	鈴木 淳	鈴木秀樹	諏訪 斎	芹沢俊介	高木順夫
高塚敏夫	竹本清子	鶴岡佐知子	富田啓介	鳥居ちゑ子	中島ひろみ
中村 肇	永田晴美	西川勇夫	花岡 昭	浜島繁隆	半田多美子
日比野修	広田由紀子	広部 栄	福岡義洋	藤岡嶺子	堀田時子
丸山由加里	武藤靖子	村松正雄	渡邊幸子		

過去の標本については、特に飯尾俊介氏、犬飼 清氏、浜島繁隆氏の協力を得て、ある程度の資料を集積できた。千葉県立中央博物館に保管されている稲垣貫一氏、井波一雄氏採集標本の検討に際しては、同館植物学研究課の天野 誠氏、資料管理研究課の御巫由紀氏に大変お世話になった。また、採集者名には含まれていないが、大岡幸雄氏、横井晴正氏には、多くの分布情報を提供していただいた。

なお、23 頁に記述した千種区覚王山の 1932～34 年の標本は、愛知教育大学名誉教授沢井輝男氏（1917～2005）が、師範学校在学中に採集されたものである。

② コケ植物

成田 務

今回の調査で直接お世話になったわけではないが、執筆者がコケ植物分野を担当しレッドリストを纏めることができたのは、名古屋大学名誉教授故高木典雄博士に長年に亘りコケ植物、とりわけ蘚類に関するご指導を賜ったからである。ここに記して心より謝意を表する次第である。

【 索 引 】

和名五十音順

- (1) 維管束植物
- (2) コケ植物

分 類 順

- (1) 維管束植物
- (2) コケ植物

【索引（和名五十音順）】

（１）維管束植物

種名	学名	科名	市2015	県2015	国2014	掲載頁
アギスミレ	<i>Viola verecunda</i> A.Gray var. <i>semilunaris</i> Maxim.	スミレ	VU			255
アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i> Makino	オモダカ	VU	国	NT	223
アキノハハコグサ	<i>Gnaphalium hypoleucum</i> DC.	キク	EX	EN	EN	105
アキノミチヤナギ	<i>Polygonum polyneuron</i> Franch. et Sav.	タデ	VU			262
アサザ	<i>Nymphoides peltata</i> (S.G.Gmel.) Kuntze	ミツガシワ	国・県	EN	NT	335
アシカキ	<i>Leercia japonica</i> Makino	イネ	NT			301
アズマガヤ	<i>Asperella longe-aristata</i> (Hack.) Ohwi	イネ	VU			237
アズマナルコ	<i>Carex shimidzensis</i> Franch.	カヤツリグサ	EN			180
アマナ	<i>Amana edulis</i> (Miq.) Honda	ユリ	VU			227
アリマグミ	<i>Elaeagnus murakamiana</i> Makino	グミ	EX	VU		75
イガクサ	<i>Rhynchospora rubra</i> (Lour.) Makino	カヤツリグサ	EN			182
イガタツナミ	<i>Scutellaria kurokawae</i> H.Hara	シソ	EN			207
イシカグマ	<i>Microlepia strigosa</i> (Thunb.) C.Presl	コバノイシカグマ	EN	NT		159
イシモチソウ	<i>Drosera peltata</i> Thunb. var. <i>nipponica</i> (Masam.) Ohwi	モウセンゴケ	CR	EN	NT	148
イセウキヤガラ	<i>Bolboschoenus planiculmis</i> (F.Schmidt) T.V.Egorova	カヤツリグサ	EN			176
イソヤマデンツキ	<i>Fimbristylis ferruginea</i> (L.) Vahl var. <i>sieboldii</i> (Miq.) Ohwi	カヤツリグサ	VU			236
イチヤクソウ	<i>Pyrola japonica</i> Klenze	ツツジ	VU			267
イトトリゲモ	<i>Najas gracillima</i> (A.Braun ex Engelm.) Magnus	トチカガミ	NT	国	NT	295
イトハナビテンツキ	<i>Bulbostylis densa</i> (Wall.) Hand.-Mazz.	カヤツリグサ	EX			57
イナカギク	<i>Aster ageratoides</i> Turcz. subsp. <i>amplexifolius</i> (Sieb. et Zucc.) Kitam.	キク	EN			210
イヌゴマ	<i>Stachys riederi</i> Cham. var. <i>intermedia</i> (Kudô) Kitam.	シソ	NT			318
イヌセンブリ	<i>Swertia diluta</i> (Turcz.) Benth. et Hook.f. var. <i>tosaensis</i> (Makino) H.Hara	リンドウ	EN	NT	VU	201
イヌタヌキモ	<i>Utricularia australis</i> R.Br.	タヌキモ	NT	国	NT	320
イヌノフグリ	<i>Veronica didyma</i> Ten. var. <i>lilacina</i> (H.Hara) T.Yamaz.	オオバコ	NT	国	VU	317
イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i> (Thunb.) Sieb. ex Maxim.	マメ	CR	VU	VU	142
イワガラミ	<i>Schizophragma hydrangeoides</i> Sieb. et Zucc.	アジサイ	CR			150
ウキシバ	<i>Pseudoraphis ukishiba</i> Ohwi	イネ	NT	NT		303
ウスゲチョウジタデ	<i>Ludwigia greatrexii</i> H.Hara	アカバナ	VU	国	NT	257
ウスバシケンダ	<i>Deparia</i> sp.	イワデンダ	VU	VU	VU	220
ウスヒメワラビ	<i>Acystopteris japonica</i> (Luer) Nakai	イワデンダ	VU			218
ウチワゴケ	<i>Crepidomanes minutum</i> (Blume) K.Iwats.	コケシノブ	VU			216
ウナギツカミ	<i>Persicaria sieboldii</i> (Meisn.) Ohki var. <i>aestiva</i> (Ohki) Okuyama	タデ	VU			261
ウバユリ	<i>Cardiocrinum cordatum</i> (Thunb.) Makino	ユリ	CR			119
ウマスゲ	<i>Carex idzuroei</i> Franch. et Sav.	カヤツリグサ	CR			131
ウマノアシガタ	<i>Ranunculus japonicus</i> Thunb.	キンボウゲ	VU			243
ウメバチソウ	<i>Parnassia palustris</i> L. var. <i>multisetata</i> Ledeb.	ニシキギ	CR			144
ウラギク	<i>Aster tripolium</i> L.	キク	EN	国	NT	211
ウラシマソウ	<i>Arisaema urashima</i> H.Hara	サトイモ	NT			294
ウラジロガシ	<i>Quercus salicina</i> Blume	ブナ	VU			251
ウンヌケ	<i>Eulalia speciosa</i> (Debeaux) Kuntze	イネ	EN	NT	VU	184
オオアブノメ	<i>Gratiola japonica</i> Miq.	オオバコ	EN	VU	VU	203
オオアブラサスキ	<i>Spodiopogon sibiricus</i> Trin.	イネ	EX			67
オオウラジロノキ	<i>Malus tschonoskii</i> (Maxim.) C.K.Schneid.	バラ	VU			249
オオカメノキ	<i>Viburnum furcatum</i> Blume ex Maxim.	レンブクソウ	VU			285
オオトリゲモ	<i>Najas oguraensis</i> Miki	トチカガミ	VU	NT		224
オオバウマノスズクサ	<i>Aristolochia kaempferi</i> Willd.	ウマノスズクサ	EN	VU		161
オオバギボウシ	<i>Hosta montana</i> F.Maek.	キジカクシ	EX			51
オオハナワラビ	<i>Sceptridium japonicum</i> (Prantl) Lyon	ハナヤスリ	NT			289
オオヒナノウスツボ	<i>Scrophularia kakudensis</i> Franch.	ゴマノハグサ	EX			91
オオホシクサ	<i>Eriocaulon buergerianum</i> Körn.	ホシクサ	EX	CR		54
オオミヤマウズラ	<i>Goodyera</i> sp.	ラン	CR	EN		126
オカウコギ	<i>Acanthopanax japonicus</i> Franch. et Sav.	ウコギ	NT			325
オカタツナミソウ	<i>Scutellaria brachyspica</i> Nakai et H.Hara	シソ	EN			206
オキナグサ	<i>Pulsatilla cernua</i> (Thunb.) Bercht. et C.Presl	キンボウゲ	EX	CR	VU	69
オクモミジハグマ	<i>Ainsliaea acerifolia</i> Sch.Bip. var. <i>subapoda</i> Nakai	キク	VU			279
オグラノフサモ	<i>Myriophyllum oguraense</i> Miki	アリノトウグサ	国・県	CR	VU	330
オグルマ	<i>Inula britannica</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Thunb.) Kitam.	キク	VU			283
オケラ	<i>Atractylodes japonica</i> Koidz. ex Kitam.	キク	EN			212
オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i> (Thunb.) Juss.	スイカズラ	EX			108
オトコゼリ	<i>Ranunculus tachiroei</i> Franch. et Sav.	キンボウゲ	EX			70
オドリコソウ	<i>Lamium album</i> L. var. <i>barbatum</i> (Sieb. et Zucc.) Franch. et Sav.	シソ	EN			205
オナモミ	<i>Xanthium strumarium</i> L.	キク	EX	CR	VU	107
オニバス	<i>Euryale ferox</i> Salisb.	スイレン	CR	CR	VU	113
オミナエシ	<i>Patrinia scabiosaefolia</i> Fisch.	スイカズラ	CR			157
カガシラ	<i>Scleria caricina</i> (R.Br.) Benth.	カヤツリグサ	EX	CR	VU	61
ガガブタ	<i>Nymphoides indica</i> (L.) Kuntze	ミツガシワ	VU	NT	NT	278
カキラン	<i>Epipactis thunbergii</i> A.Gray	ラン	EN			166
カゴノキ	<i>Litsea coreana</i> H.Lév.	クスノキ	NT			292
カザグルマ	<i>Clematis patens</i> C.Morren et Decne.	キンボウゲ	CR	EN	NT	139
カシワバハグマ	<i>Pertya robusta</i> (Maxim.) Makino	キク	EN			214
カセンソウ	<i>Inula salicina</i> L. var. <i>asiatica</i> Kitam.	キク	EX	EN		106
カタクリ	<i>Erythronium japonicum</i> Decne.	ユリ	CR			120

種名	学名	科名	市2015	県2015	国2014	掲載頁
カヤ	<i>Torreya nucifera</i> (L.) Sieb. et Zucc.	イチイ	CR			111
カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i> Wall.	オオバコ	国	国	NT	334
カワラケツメイ	<i>Cassia nomame</i> (Makino) Honda	マメ	VU			246
カワラサイコ	<i>Potentilla chinensis</i> Ser.	バラ	EN	VU		191
カワラナデシコ	<i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i> (Maxim.) F.N.Williams	ナデシコ	NT			312
カワラニンジン	<i>Artemisia apiacea</i> Hance	キク	NT			323
カワラハハコ	<i>Anaphalis margaritacea</i> (L.) Benth. et Hook.f. subsp. <i>yedoensis</i> (Franch. et Sav.) Kitam.	キク	VU			281
カワラハンノキ	<i>Alnus serrulatoidea</i> Callier	カバノキ	VU			252
ガンビ	<i>Diplomorpha sikokiana</i> (Franch. et Sav.) Honda	ジンチョウゲ	VU			258
キキョウ	<i>Platycodon grandiflorum</i> (Jacq.) A.DC.	キキョウ	CR	VU	VU	156
キクムグラ	<i>Galium kikumugura</i> Ohwi	アカネ	EN	NT		199
キジムシロ	<i>Potentilla fragarioides</i> L. var. <i>major</i> Maxim.	バラ	EX			72
キスゲ	<i>Hemerocallis citrina</i> Baroni var. <i>vespertina</i> (H.Hara) M.Hotta	ススキノキ	CR			127
キセルアザミ	<i>Cirsium sieboldii</i> Miq.	キク	NT			324
キッコウハグマ	<i>Ainsliaea apiculata</i> Sch.Bip.	キク	VU			280
キヌヤナギ	<i>Salix kinuyanagi</i> Kimura	ヤナギ	VU	NT		254
キハギ	<i>Lespedeza buergeri</i> Miq.	マメ	EN			187
キヨスミギボウシ	<i>Hosta kiyosumiensis</i> F.Maek.	キジカクシ	VU			231
キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i> (Thunb.) Blume	ラン	CR	NT	VU	124
ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i> (Thunb.) Blume	ラン	CR			123
ギンリョウソウ	<i>Monotropastrum humile</i> (D.Don) H.Hara	ツツジ	EX			85
ギンリョウソウモドキ	<i>Monotropa uniflora</i> L.	ツツジ	VU			266
クサナギオゴケ	<i>Cynanchum katoi</i> Ohwi	キョウチクトウ	EX	NT	VU	88
クサボタン	<i>Clematis stans</i> Sieb. et Zucc.	キンボウゲ	EX	VU		68
クサレダマ	<i>Lysimachia vulgaris</i> L. var. <i>davurica</i> (Ledeb.) R.Knuth	サクラソウ	EN			198
クモキリソウ	<i>Liparis kumokiri</i> F.Maek.	ラン	VU			230
クモラン	<i>Taeniophyllum glandulosum</i> Blume	ラン	EX			50
クロウメモドキ	<i>Rhamnus japonica</i> Maxim. var. <i>decipiens</i> Maxim.	クロウメモドキ	EX			76
クロボシクサ	<i>Eriocaulon parvum</i> Körn.	ホシクサ	EX	EN	VU	55
クロミノニシゴリ	<i>Symplocos paniculata</i> (Thunb.) Miq.	ハイノキ	NT			315
クロモジ	<i>Lindera umbellata</i> Thunb.	クスノキ	EX			38
クロヤツシロラン	<i>Gastrodia pubilabiata</i> Y.Sawa	ラン	EN			167
ケイリュウタチツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i> A.Gray var. <i>ripensis</i> N.Yamada et M.Okamoto	スミレ	NT			308
ケタガネソウ	<i>Carex ciliato-marginata</i> Nakai	カヤツリグサ	CR			130
ケブカツルカコソウ	<i>Ajuga shikotanensis</i> Miyabe et Tatew. form. <i>hirsuta</i> (Honda) Murata	シソ	EX	EN		92
コアカソ	<i>Boehmeria spicata</i> (Thunb.) Thunb.	イラクサ	NT			306
コアジサイ	<i>Hydrangea hirta</i> (Thunb.) Sieb. et Zucc.	アジサイ	NT			314
コイヌガラシ	<i>Rorippa cantoniensis</i> (Lour.) Ohwi	アブラナ	VU	国	NT	259
コウガイモ	<i>Vallisneria denseserrulata</i> (Makino) Makino	トチカガミ	EX	VU		44
コウボウ	<i>Hierochloa odorata</i> (L.) P.Beauv. var. <i>pubescens</i> Krylov	イネ	CR			137
コオニユリ	<i>Lilium leichtlinii</i> Hook.f. var. <i>maximowiczii</i> (Regel) Baker	ユリ	CR			122
コガクウツギ	<i>Hydrangea luteo-venosa</i> Koidz.	アジサイ	CR	EN		149
コカモメヅル	<i>Tylophora floribunda</i> Miq.	キョウチクトウ	EX			89
コガンピ	<i>Diplomorpha ganpi</i> (Sieb. et Zucc.) Nakai	ジンチョウゲ	EX			80
コギシギシ	<i>Rumex nipponicus</i> Franch. et Sav.	タデ	VU	国	VU	263
ゴキツル	<i>Actinostemma lobatum</i> (Maxim) Maxim. ex Franch. et Sav.	ウリ	VU			253
コクサギ	<i>Orixa japonica</i> Thunb.	ミカン	EN			194
コケリンドウ	<i>Gentiana squarrosa</i> Ledeb.	リンドウ	CR	VU		151
コゴメカゼクサ	<i>Eragrostis japonica</i> (Thunb.) Trin.	イネ	EX	VU		65
コシオガマ	<i>Phtheirospermum japonicum</i> (Thunb.) Kanitz	ハマウツボ	CR			154
コシンジュガヤ	<i>Scleria parvula</i> Steud.	カヤツリグサ	EX			63
コタヌキモ	<i>Utricularia intermedia</i> Heyne	タヌキモ	EX	CR		98
コバギボウシ	<i>Hosta sieboldii</i> (Paxton) J.W.Ingram form. <i>spathulata</i> (Miq.) W.G.Schmid	キジカクシ	VU			232
コハナヤスリ	<i>Ophioglossum thermale</i> Kom. var. <i>nipponicum</i> (Miyabe et Kudô) M.Nishida	ハナヤスリ	NT			288
コバノトシボソウ	<i>Platanthera tipuloides</i> (L.f.) Lindl. var. <i>nipponica</i> (Makino) Ohwi	ラン	EN			170
コミソノバ	<i>Persicaria mikawana</i> Hanai et Seriz.	タデ	EX	NT		81
コメガヤ	<i>Melica nutans</i> L.	イネ	EX			66
コモチンダ	<i>Woodwardia orientalis</i> Sw.	シンガシラ	EN			160
コヤブタバコ	<i>Carpesium cernuum</i> L.	キク	EX			103
サイハイラン	<i>Cremastra appendiculata</i> (D.Don) Makino	ラン	EN			165
サギソウ	<i>Habenaria radiata</i> (Thunb.) Spreng.	ラン	VU	VU	NT	228
スクラタデ	<i>Persicaria conspicua</i> (Nakai) Nakai	タデ	NT			310
スクラバハンノキ	<i>Alnus trabeculosa</i> Hand.-Mazz.	カバノキ	NT	国	NT	307
ササユリ	<i>Lilium japonicum</i> Thunb.	ユリ	EN			164
サヤヌカグサ	<i>Leersia sayanuka</i> Ohwi	イネ	VU			239
サワオトギリ	<i>Hypericum pseudopetiolatum</i> R.Keller	オトギリソウ	VU			256
サワギキョウ	<i>Lobelia sessilifolia</i> Lamb.	キキョウ	VU			276
サワラン	<i>Eleocharis japonica</i> (A.Gray) F.Maek.	ラン	EX	CR		45
サンショウモ	<i>Salvinia natans</i> (L.) All.	サンショウモ	EX	CR	VU	35
シオクグ	<i>Carex scabrifolia</i> Steud.	カヤツリグサ	NT			299
ジガバチソウ	<i>Liparis krameri</i> Franch. et Sav.	ラン	VU			229
シズイ	<i>Schoenoplectus nipponicus</i> (Makino) Soják	カヤツリグサ	EX	VU		59
シソバタツナミ	<i>Scutellaria laeteviolacea</i> Koidz.	シソ	VU			274
シダミコザサ	<i>Sasa samaniensis</i> Nakai var. <i>yoshinoi</i> (Koidz.) S.Suzuki form. <i>hidejiroana</i> (Koidz.) S.Suzuki	イネ	VU	VU		241
シデコブシ	<i>Magnolia stellata</i> (Sieb. et Zucc.) Maxim.	モクレン	CR	VU	NT	114
シバナ	<i>Triglochin maritimum</i> L.	シバナ	EN	NT	NT	162
シベリアメドハギ	<i>Lespedeza juncea</i> (L.f.) Pers.	マメ	EN			188
シマジタムラソウ	<i>Salvia isensis</i> Nakai ex H.Hara	シソ	CR	NT	VU	153

種名	学名	科名	市2015	県2015	国2014	掲載頁
シモツケ	<i>Spiraea japonica</i> L.f.	バラ	EX			74
シュスラン	<i>Goodyera velutina</i> Maxim.	ラン	CR	VU		125
ジュンサイ	<i>Brasenia schreberi</i> J.F.Gmel.	ジュンサイ	CR			112
ショウジョウスゲ	<i>Carex blepharicarpa</i> Franch.	カヤツリグサ	NT			298
シラタマホシクサ	<i>Eriocaulon nudicuspe</i> Maxim.	ホシクサ	EN	VU	VU	175
シラン	<i>Bletilla striata</i> (Thunb.) Rchb.f.	ラン	国・県	NT	NT	329
シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz.	クスノキ	NT			293
スズカカンアオイ	<i>Heterotropa nipponica</i> (F.Maek.) F.Maek. var. <i>brachypodion</i> (F.Maek.) F.Maek.	ウマノスズクサ	NT			291
スズサイコ	<i>Cynanchum paniculatum</i> (Bunge) Kitag.	キョウチクトウ	CR	国	NT	152
スズメノコビエ	<i>Paspalum scrobiculatum</i> L. var. <i>orbiculatum</i> (G.Forst.) Hack.	イネ	NT			302
スハマソウ	<i>Hepatica nobilis</i> Schreb. var. <i>japonica</i> Nakai form. <i>variegata</i> (Makino) Kitam.	キンボウゲ	CR	NT	NT	140
スブタ	<i>Blyxa echinosperma</i> (C.B.Clarke) Hook.f.	トチカガミ	EX	EN	VU	40
スルガテンナンショウ	<i>Arisaema yamatense</i> (Nakai) Nakai subsp. <i>sugimotoi</i> (Nakai) H. Ohashi et J. Murata	サトイモ	CR			117
セイタカハリイ	<i>Eleocharis attenuata</i> (Franch. et Sav.) Palla	カヤツリグサ	CR	VU		134
センダイスゲ	<i>Carex lenta</i> D. Don var. <i>sendaica</i> (Franch.) T. Koyama	カヤツリグサ	EN	VU		179
タカトウダイ	<i>Euphorbia pekinensis</i> Rupr.	トウダイグサ	EX			77
タチモ	<i>Myriophyllum ussuriense</i> (Regel) Maxim.	アリノトウグサ	CR	NT	NT	141
タツナミソウ	<i>Scutellaria indica</i> L.	シソ	VU			273
タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i> (Sieb. et Zucc.) K. Koch	スイカズラ	EN			215
タニギキョウ	<i>Pericarpia carnosa</i> (Wall.) Hook.f. et Thomson var. <i>circaeoides</i> (F.Schmidt) Makino	キキョウ	VU			277
タニソバ	<i>Persicaria nepalensis</i> (Meisn.) H. Gross	タデ	EX			82
タニヘゴ	<i>Dryopteris tokyoensis</i> (Matsum. ex Makino) C. Chr.	オンダ	VU			221
タヌキマメ	<i>Crotalaria sessiliflora</i> L.	マメ	VU			247
タマミズキ	<i>Ilex micrococca</i> Maxim.	モチノキ	VU			275
ダンコウバイ	<i>Lindera obtusiloba</i> Blume	クスノキ	CR			116
チゴユリ	<i>Disporum smilacinum</i> A. Gray	イヌサフラン	VU			226
チダケサシ	<i>Astilbe microphylla</i> Knoll	ユキノシタ	EX			71
チャセンシダ	<i>Asplenium trichomanes</i> L.	チャセンシダ	VU			217
ツクシクロイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon kiusianum</i> Maxim.	ホシクサ	EN	NT	VU	174
ツクシヤワラシダ	<i>Thelypteris hattorii</i> (H. Itô) Tagawa var. <i>nemoralis</i> (Ching) Sa. Kurata	ヒメシダ	CR	VU		110
ツクバスゲ	<i>Carex hirtifructus</i> Kük.	カヤツリグサ	VU			235
ツチアケビ	<i>Galeola septentrionalis</i> Rchb.f.	ラン	EX			46
ツメレンゲ	<i>Orostachys japonicus</i> (Maxim.) A. Berger	ベンケイソウ	VU	NT	NT	244
ツルニンジン	<i>Codonopsis lanceolata</i> (Sieb. et Zucc.) Trautv.	キキョウ	EX			100
デンジソウ	<i>Marsilea quadrifolia</i> L.	デンジソウ	EX	CR	VU	34
トキソウ	<i>Pogonia japonica</i> Rchb.f.	ラン	EX	EN	NT	48
トキワトラノオ	<i>Asplenium pekinense</i> Hance	チャセンシダ	NT			290
トチカガミ	<i>Hydrocharis dubia</i> (Blume) Backer	トチカガミ	EX	EN	NT	42
トネテンツキ	<i>Fimbristylis stauntonii</i> Debeaux et Franch. var. <i>tonensis</i> (Makino) T. Koyama	カヤツリグサ	CR	VU	VU	135
ナガエミクリ	<i>Sparganium japonicum</i> Rothert	ガマ	VU	国	NT	233
ナガバノイシモチソウ	<i>Drosera indica</i> L.	モウセンゴケ	EX	CR	VU	83
ナガバノウナギツカミ	<i>Persicaria hastatosagittata</i> (Makino) Nakai	タデ	VU	NT	NT	260
ナラガシワ	<i>Quercus aliena</i> Blume	ブナ	県	EN		331
ナルコユリ	<i>Polygonatum falcatum</i> A. Gray	キジカクシ	EX			52
ナンバンギセル	<i>Aeginetia indica</i> L.	ハマウツボ	NT			319
ニガキ	<i>Picrasma quassioides</i> (D. Don) Benn.	ニガキ	EN			195
ニガクサ	<i>Teucrium japonicum</i> Houtt.	シソ	EN			208
ニシノホンモンジスゲ	<i>Carex stenostachys</i> Franch. et Sav.	カヤツリグサ	CR	VU		132
ニッケイ	<i>Cinnamomum okinawense</i> Hatus.	クスノキ	国	国	NT	327
ヌカボシソウ	<i>Luzula plumosa</i> E. Mey. var. <i>macrocarpa</i> (Buchenau) Ohwi	イグサ	EX			56
ヌマカゼクサ	<i>Eragrostis aquatica</i> Honda	イネ	VU			238
ヌマダイコン	<i>Adenostemma lavenia</i> (L.) Kuntze	キク	EN			209
ネナシカズラ	<i>Cuscuta japonica</i> Choisy	ヒルガオ	NT			316
ノカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>longituba</i> (Miq.) Maxim.	ススキノキ	CR			128
ノグサ	<i>Schoenus apogon</i> Roem. et Schult.	カヤツリグサ	EX	EN		60
ノダケ	<i>Angelica decursiva</i> (Miq.) Franch. et Sav.	セリ	VU			286
ノタヌキモ	<i>Utricularia aurea</i> Lour.	タヌキモ	EX	VU	VU	95
ノハナショウブ	<i>Iris ensata</i> Thunb. var. <i>spontanea</i> (Makino) Nakai	アヤメ	EN			171
ハクサンボク	<i>Viburnum japonicum</i> (Thunb.) Spreng.	レンブクソウ	県	VU		336
ハタザオ	<i>Turritis glabra</i> L.	アブラナ	EN			197
ハッカ	<i>Mentha arvensis</i> L. var. <i>piperascens</i> Malinv.	シソ	VU			271
ハマアオスゲ	<i>Carex fibrillosa</i> Franch. et Sav.	カヤツリグサ	EN			178
ハマアカザ	<i>Atriplex subcordata</i> Kitag.	ヒユ	EX	VU		84
ハマエンドウ	<i>Lathyrus japonicus</i> Willd.	マメ	VU			248
ハマボウ	<i>Hibiscus hamabo</i> Sieb. et Zucc.	アオイ	EX	VU		79
ヒツジグサ	<i>Nymphaea tetragona</i> Georgi	スイレン	EX			37
ヒトツバハギ	<i>Securinega suffruticosa</i> (Pall.) Rehder var. <i>japonica</i> (Miq.) Hurus.	ミカンソウ	CR			145
ヒナザサ	<i>Coelachne japonica</i> Hack.	イネ	EX	VU	NT	64
ヒナノカンザシ	<i>Salomonina oblongifolia</i> DC.	ヒメハギ	EN			190
ヒナノシヤクジョウ	<i>Burmannia championii</i> Thwaites	ヒナノシヤクジョウ	CR	VU		118
ヒメアオガヤツリ	<i>Cyperus extremiorientalis</i> Ohwi	カヤツリグサ	CR	CR		133
ヒメイカリソウ	<i>Epimedium youngianum</i> Fisch. et C.A. Mey.	メギ	CR			138
ヒメガヤツリ	<i>Cyperus tenuispica</i> Steud.	カヤツリグサ	EN	VU		181
ヒメクロモジ	<i>Lindera lancea</i> (Moriy.) H. Koyama	クスノキ	CR			115
ヒメコウガイゼキショウ	<i>Juncus bufonius</i> L.	イグサ	NT			297
ヒメコウホネ	<i>Nuphar subintegerrima</i> (Casp.) Makino	スイレン	EX	EN	VU	36
ヒメコヌカグサ	<i>Agrostis valvata</i> Steud.	イネ	NT	国	NT	300

種名	学名	科名	市2015	県2015	国2014	掲載頁
ヒメシオン	<i>Aster fastigiatus</i> Fisch.	キク	EX	VU		101
ヒメタイヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) P.Beauv. var. <i>formosensis</i> Ohwi	イネ	CR	EN		136
ヒメドコロ	<i>Dioscorea tenuipes</i> Franch. et Sav.	ヤマノイモ	VU			225
ヒメビシ	<i>Trapa incisa</i> Sieb. et Zucc.	ミソハギ	CR	EN	VU	147
ヒメミソハギ	<i>Ammannia multiflora</i> Roxb.	ミソハギ	CR			146
ヒメミミカキグサ	<i>Utricularia minutissima</i> Vahl	タヌキモ	EX	EN	EN	99
ヒルムシロ	<i>Potamogeton distinctus</i> A.Benn.	ヒルムシロ	EN	NT		163
ビロードスゲ	<i>Carex fedia</i> Nees var. <i>miyabei</i> (Franch.) T.Koyama	カヤツリグサ	VU			234
フサタヌキモ	<i>Utricularia dimorphantha</i> Makino	タヌキモ	EX	EX	EN	96
フモトミズナラ	<i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>mongolicoides</i> (H.Ohba) Seriz.	ブナ	VU	NT		250
ヘビノボラス	<i>Berberis sieboldii</i> Miq.	メギ	VU	NT		242
ヘラオモダカ	<i>Alisma canaliculatum</i> A.Braun et C.D.Bouché	オモダカ	VU			222
ヘラシダ	<i>Deparia lancea</i> (Thunb.) Fraser-Jenk.	イワデンダ	VU			219
ホザキノフサモ	<i>Myriophyllum spicatum</i> L.	アリノトウグサ	EN			185
ホザキノミミカキグサ	<i>Utricularia racemosa</i> Wall.	タヌキモ	NT			322
ホソバニセジュズネノキ	<i>Damnacanthus indicus</i> C.F.Gaertn. subsp. <i>major</i> (Sieb. et Zucc.) T.Yamaz. var. <i>lancifolius</i> Makino	アカネ	VU			268
ホソバノヨツバムグラ	<i>Galium trifidum</i> L. var. <i>brevipedunculatum</i> Regel	アカネ	VU			269
ホソバハマアカザ	<i>Atriplex gmelinii</i> C.A.Mey	ヒユ	NT			313
ホタルカズラ	<i>Lithospermum zollingeri</i> A.DC.	ムラサキ	EX	EN		90
ホッスモ	<i>Najas graminea</i> Delile	トチカガミ	EX			43
ホドイモ	<i>Apios fortunei</i> Maxim.	マメ	VU			245
マキエハギ	<i>Lespedeza virgata</i> (Thunb.) DC.	マメ	EN			189
マタタビ	<i>Aictnidia polygama</i> (Sieb. et Zucc.) Planch. ex Maxim.	マタタビ	VU			265
マツカサススキ	<i>Scirpus mitsukurianus</i> Makino	カヤツリグサ	EN			183
マツバラン	<i>Psilotum nudum</i> (L.) P.Beauv.	マツバラン	国・県外	VU	NT	326
マメナシ	<i>Pyrus calleryana</i> Decne.	バラ	EN	CR	EN	192
マルバノホロシ	<i>Solanum maximowiczii</i> Koidz.	ナス	EN			202
マルミスブタ	<i>Blyxa aubertii</i> Rich.	トチカガミ	EX	EN	VU	39
マンサク	<i>Hamamelis japonica</i> Sieb. et Zucc.	マンサク	NT			304
ミカワシンジュガヤ	<i>Scleria mikawana</i> Makino	カヤツリグサ	EX	VU	VU	62
ミカワタヌキモ	<i>Utricularia exoleta</i> R.Br.	タヌキモ	EX	EN	VU	97
ミクリ	<i>Sparganium erectum</i> L.	ガマ	CR	VU	NT	129
ミクリガヤ	<i>Rhynchospora malasica</i> C.B. Clarke	カヤツリグサ	EX	CR	EN	58
ミズアオイ	<i>Monochoria korsakowii</i> Regel et Maack	ミズアオイ	EX	CR	NT	53
ミズオオバコ	<i>Ottelia alismoides</i> (L.) Pers.	トチカガミ	国外	国外	VU	328
ミズギク	<i>Inula ciliaris</i> (Miq.) Maxim.	キク	EN	NT		213
ミズスギナ	<i>Rotala hippuris</i> Makino	ミソハギ	EX	EX	CR	78
ミズタガラシ	<i>Cardamine lyrata</i> Bunge	アブラナ	EN	NT		196
ミズトラノオ	<i>Eusteralis yatabeana</i> (Makino) Murata	シソ	EX	VU	VU	94
ミズトナボ	<i>Habenaria sagittifera</i> Rchb.f.	ラン	EX	VU	VU	47
ミズニラ	<i>Isoetes japonica</i> A.Braun	ミズニラ	CR	NT	NT	109
ミズネコノオ	<i>Eusteralis stellata</i> (Lour.) Murata	シソ	EX	EN	NT	93
ミズマツバ	<i>Rotala mexicana</i> Cham. et Schldtl.	ミソハギ	国外	国外	VU	333
ミズユキノシタ	<i>Ludwigia ovalis</i> Miq.	アカバナ	NT			309
ミゾコウジュ	<i>Salvia plebeia</i> R.Br.	シソ	VU	国外	NT	272
ミノボロスゲ	<i>Carex albata</i> Boott	カヤツリグサ	EN	VU		177
ミミカキグサ	<i>Utricularia bifida</i> L.	タヌキモ	NT			321
ミヤコミズ	<i>Pilea kiotensis</i> Ohwi	イラクサ	CR	CR		143
ミヤマウズラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i> Rchb.f.	ラン	EN			168
ミヤマナルコユリ	<i>Polygonatum lasianthum</i> Maxim.	キジカクシ	EN			172
ミヤマワレモコウ	<i>Sanguisorba longifolia</i> Bertol.	バラ	EX	EN		73
ムカゴニンジン	<i>Sium ninsi</i> L.	セリ	VU			287
ムヨウラン	<i>Lecanorchis japonica</i> Blume	ラン	EN			169
ムラサキトキンソウ	<i>Centipeda</i> sp.	キク	VU	NT		282
ムラサキニガナ	<i>Lactuca sororia</i> Miq.	キク	VU			284
ムラサキミミカキグサ	<i>Utricularia uliginosa</i> Vahl	タヌキモ	CR	NT	NT	155
モウセンゴケ	<i>Drosera rotundifolia</i> L.	モウセンゴケ	NT			311
ヤチヤナギ	<i>Gale belgica</i> Duham. var. <i>tomentosa</i> (C.DC.) T.Yamaz.	ヤマモモ	県外	CR		332
ヤナギイノコヅチ	<i>Achyranthes longifolia</i> (Makino) Makino	ヒユ	VU			264
ヤナギスブタ	<i>Blyxa japonica</i> (Miq.) Maxim.	トチカガミ	EX			41
ヤブサンザシ	<i>Ribes fasciculatum</i> Sieb. et Zucc.	スグリ	EN	VU		186
ヤブムラサキ	<i>Callicarpa mollis</i> Sieb. et Zucc.	シソ	VU			270
ヤマジノギク	<i>Aster hispidus</i> Thunb.	キク	EX	CR		102
ヤマトキノウ	<i>Pogonia minor</i> (Makino) Makino	ラン	EX	VU		49
ヤマトミクリ	<i>Sparganium fallax</i> Graebn.	ガマ	EN	NT	NT	173
ヤマドリゼンマイ	<i>Osmunda cinnamomea</i> L.	ゼンマイ	EN			158
ヤマネコヤナギ	<i>Salix bakko</i> Kimura	ヤナギ	EN			193
ヤマハッカ	<i>Isodon inflexus</i> (Thunb.) Kudô	シソ	EN			204
ヤマムグラ	<i>Galium pogonanthum</i> Franch. et Sav.	アカネ	EX			87
ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i> Lindl.	ユリ	CR			121
ヤマラッキョウ	<i>Allium thunbergii</i> G.Don	ヒガンバナ	NT			296
リュウノウギク	<i>Dendranthema japonicum</i> (Makino) Kitam.	キク	EX			104
リンドウ	<i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim.	リンドウ	EN			200
レンゲツツジ	<i>Rhododendron japonicum</i> (A.Gray) Suringar	ツツジ	EX			86
ワセオバナ	<i>Saccharum spontaneum</i> L. var. <i>arenicola</i> (Ohwi) Ohwi	イネ	VU			240
ワタゲカマツカ	<i>Pourthiaea villosa</i> (Thunb.) Decne.	バラ	NT			305

(2) コケ植物

種名	学名	区分	科名	市2015	県2015	国2014	掲載頁
イクタマユハゲゴケ	<i>Campylopus gemmiparus</i> Z.Iwats. et al.	蘚類	シッポゴケ	NT			352
イクビゴケ	<i>Diphyscium fulvifolium</i> Mitt	蘚類	イクビゴケ	NT			348
イチョウウキゴケ	<i>Ricciocarpos natans</i> (L.) Corda	苔類	ウキゴケ	NT	NT	NT	358
イバラゴケ(ケムシゴケ)	<i>Calypstrochaeta japonica</i> (Card. et Thér.) Z.Iwats. et Nog.	蘚類	アブラゴケ	VU	VU		342
イボミズゴケ	<i>Sphagnum papillosum</i> Lindb.	蘚類	ミズゴケ	NT	NT		346
ウキゴケ	<i>Riccia fluitans</i> L.	苔類	ウキゴケ	NT	VU		357
ウマスギゴケ	<i>Polytrichum commune</i> Hedw.	蘚類	スギゴケ	NT			350
オオミズゴケ	<i>Sphagnum palustre</i> L.	蘚類	ミズゴケ	NT	NT	NT	345
カモジゴケ	<i>Dicranum scoparium</i> Hedw.	蘚類	シッポゴケ	NT			354
コアナミズゴケ	<i>Sphagnum microporum</i> Warnst. ex Card.	蘚類	ミズゴケ	NT			344
シッポゴケ	<i>Dicranum japonicum</i> Mitt.	蘚類	シッポゴケ	NT			353
ゼニゴケ	<i>Marchantia polymorpha</i> L.	苔類	ゼニゴケ	NT			356
タカサゴソコマメゴケ	<i>Jackiella javanica</i> Schiffn.	苔類	タカサゴソコマメゴケ	EX	EX		340
ツリバリゴケモドキ	<i>Bryohumbertia subcomosa</i> (Dix.) Frahm	蘚類	シッポゴケ	NT			351
ハミズゴケ	<i>Pogonatum spinulosum</i> Mitt.	蘚類	スギゴケ	NT			349
ハリミズゴケ	<i>Shagnum cuspidatum</i> Ehrh. ex Hofm.	蘚類	ミズゴケ	VU	VU		341
マルバヒメクサリゴケ	<i>Cololejeunea minutissima</i> (Sm.) Schiffn.	苔類	クサリゴケ	VU	VU		343
ヤナギゴケ	<i>Leptodictyum riparium</i> (Hedw.) Warnst.	蘚類	ヤナギゴケ	NT			355
ユガミミズゴケ	<i>Sphagnum subsecundum</i> Nees ex Sturm	蘚類	ミズゴケ	NT			347

【索引（分類順）】

（１）維管束植物

科の範囲、名称、配列は、一部を除き「日本産維管束植物目録」（米倉浩二著，2012 年，北隆館）に準拠した。種の学名は主として「日本の野生植物」（1981～1992 年，平凡社）に使われているものを用い、科内の配列は学名のアルファベット順とした。

科名	種名	学名	市2015	県2015	国2014	掲載頁
ミズニラ	ミズニラ	<i>Isoetes japonica</i> A.Braun	CR	NT	NT	109
ハナヤスリ	コハナヤスリ	<i>Ophioglossum thermale</i> Kom. var. <i>nipponicum</i> (Miyabe et Kudō) M.Nishida	NT			288
ハナヤスリ	オオハナワラビ	<i>Sceptridium japonicum</i> (Prantl) Lyon	NT			289
マツバラシ	マツバラシ	<i>Psilotum nudum</i> (L.) P.Beauv.	国・県リスト	VU	NT	325
ゼンマイ	ヤマドリゼンマイ	<i>Osmunda cinnamomea</i> L.	EN			158
コケシノブ	ウチワコケ	<i>Crepidomanes minutum</i> (Blume) K.Iwats.	VU			216
デンジソウ	デンジソウ	<i>Marsilea quadrifolia</i> L.	EX	CR	VU	34
サンショウモ	サンショウモ	<i>Salvinia natans</i> (L.) All.	EX	CR	VU	35
コバノイシカグマ	イシカグマ	<i>Microlepia strigosa</i> (Thunb.) C.Presl	EN	NT		159
チャセンシダ	トキワトラノオ	<i>Asplenium pekinense</i> Hance	NT			290
チャセンシダ	チャセンシダ	<i>Asplenium trichomanes</i> L.	VU			217
ヒメシダ	ツクシヤワラシダ	<i>Thelypteris hattorii</i> (H.Itō) Tagawa var. <i>memoralis</i> (Ching) Sa.Kurata	CR	VU		110
イワデンダ	ウスヒメワラビ	<i>Acystopteris japonica</i> (Luer) Nakai	VU			218
イワデンダ	ヘラシダ	<i>Deparia lancea</i> (Thunb.) Fraser-Jenk.	VU			219
イワデンダ	ウスバシゲシダ	<i>Deparia</i> sp.	VU	VU	VU	220
シシガシラ	コモチシダ	<i>Woodwardia orientalis</i> Sw.	EN			160
オシダ	タニヘゴ	<i>Dryopteris tokyoensis</i> (Matsum. ex Makino) C.Chr.	VU			221
イチイ	カヤ	<i>Torreya nucifera</i> (L.) Sieb. et Zucc.	CR			111
ジュンサイ	ジュンサイ	<i>Brasenia schreberi</i> J.F.Gmel.	CR			112
スイレン	オニバス	<i>Euryale ferox</i> Salisb.	CR	CR	VU	113
スイレン	ヒメコウホネ	<i>Nuphar subintegerrima</i> (Casp.) Makino	EX	EN	VU	36
スイレン	ヒツジグサ	<i>Nymphaea tetragona</i> Georgi	EX			37
ウマノスズクサ	オオバウマノスズクサ	<i>Aristolochia kaempferi</i> Willd.	EN	VU		161
ウマノスズクサ	スズカカンアオイ	<i>Heterotropa nipponica</i> (F.Maek.) F.Maek. var. <i>brachypodion</i> (F.Maek.) F.Maek.	NT			291
モクレン	シデコブシ	<i>Magnolia stellata</i> (Sieb. et Zucc.) Maxim.	CR	VU	NT	114
クスノキ	ニッケイ	<i>Cinnamomum okinawense</i> Hatus.	国リスト	国リスト	NT	327
クスノキ	ヒメクロモジ	<i>Lindera lancea</i> (Momi.) H.Koyama	CR			115
クスノキ	ダンコウバイ	<i>Lindera obtusiloba</i> Blume	CR			116
クスノキ	クロモジ	<i>Lindera umbellata</i> Thunb.	EX			38
クスノキ	カゴノキ	<i>Litsea coreana</i> H.Lév.	NT			292
クスノキ	シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz.	NT			293
サトイモ	ウラシマソウ	<i>Arisaema urashima</i> H.Hara	NT			294
サトイモ	スルガテンナンショウ	<i>Arisaema yamatense</i> (Nakai) Nakai subsp. <i>sugimotoi</i> (Nakai) H.Ohashi et J.Murata	CR			117
オモダカ	ヘラオモダカ	<i>Alisma canaliculatum</i> A.Braun et C.D.Bouché	VU			222
オモダカ	アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i> Makino	VU	国リスト	NT	223
トチカガミ	マルミスブタ	<i>Blyxa aubertii</i> Rich.	EX	EN	VU	39
トチカガミ	スブタ	<i>Blyxa echinosperma</i> (C.B.Clarke) Hook.f.	EX	EN	VU	40
トチカガミ	ヤナギスブタ	<i>Blyxa japonica</i> (Miq.) Maxim.	EX			41
トチカガミ	トチカガミ	<i>Hydrocharis dubia</i> (Blume) Backer	EX	EN	NT	42
トチカガミ	イトトリゲモ	<i>Najas gracillima</i> (A.Braun ex Engelm.) Magnus	NT	国リスト	NT	295
トチカガミ	ホッスモ	<i>Najas graminea</i> Delile	EX			43
トチカガミ	オオトリゲモ	<i>Najas oguraensis</i> Miki	VU	NT		224
トチカガミ	ミズオオバコ	<i>Ottelia alismoides</i> (L.) Pers.	国リスト	国リスト	VU	328
トチカガミ	コウガイモ	<i>Vallisneria denseserrulata</i> (Makino) Makino	EX	VU		44
シバナ	シバナ	<i>Triglochin maritimum</i> L.	EN	NT	NT	162
ヒルムシロ	ヒルムシロ	<i>Potamogeton distinctus</i> A.Benn.	EN	NT		163
ヒナノシヤクジョウ	ヒナノシヤクジョウ	<i>Burmannia championii</i> Thwaites	CR	VU		118
ヤマノイモ	ヒメドコロ	<i>Dioscorea tenuipes</i> Franch. et Sav.	VU			225
イヌサフラン	チゴユリ	<i>Disporum smilacinum</i> A.Gray	VU			226
ユリ	アマナ	<i>Amana edulis</i> (Miq.) Honda	VU			227
ユリ	ウバユリ	<i>Cardiocrinum cordatum</i> (Thunb.) Makino	CR			119
ユリ	カタクリ	<i>Erythronium japonicum</i> Decne.	CR			120
ユリ	ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i> Lindl.	CR			121
ユリ	ササユリ	<i>Lilium japonicum</i> Thunb.	EN			164
ユリ	コオニユリ	<i>Lilium leichtlinii</i> Hook.f. var. <i>maximowiczii</i> (Regel) Baker	CR			122
ラン	シラン	<i>Bletilla striata</i> (Thunb.) Rehb.f.	国・県リスト	NT	NT	329
ラン	ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i> (Thunb.) Blume	CR			123
ラン	キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i> (Thunb.) Blume	CR	NT	VU	124
ラン	サイハイラン	<i>Cremastra appendiculata</i> (D.Don) Makino	EN			165
ラン	サワラン	<i>Eleorchis japonica</i> (A.Gray) F.Maek.	EX	CR		45
ラン	カキラン	<i>Epipactis thunbergii</i> A.Gray	EN			166
ラン	ツチアケビ	<i>Galeola septentrionalis</i> Rehb.f.	EX			46
ラン	クロヤツシロラン	<i>Gastrodia pubilabiata</i> Y.Sawa	EN			167
ラン	ミヤマウズラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i> Rehb.f.	EN			168
ラン	オオミヤマウズラ	<i>Goodyera</i> sp.	CR	EN		126
ラン	シュスラン	<i>Goodyera velutina</i> Maxim.	CR	VU		125
ラン	サギソウ	<i>Habenaria radiata</i> (Thunb.) Spreng.	VU	VU	NT	230

科名	種名	学名	市2015	県2015	国2014	掲載頁
ラン	ミズトンボ	<i>Habenaria sagittifera</i> Rchb.f.	EX	VU	VU	47
ラン	ムヨウラン	<i>Lecanorchis japonica</i> Blume	EN			169
ラン	ジガバチソウ	<i>Liparis krameri</i> Franch. et Sav.	VU			228
ラン	クモキリソウ	<i>Liparis kumokiri</i> F.Maek.	VU			229
ラン	コバノトンボソウ	<i>Platanthera tipuloides</i> (L.f.) Lindl. var. <i>nipponica</i> (Makino) Ohwi	EN			170
ラン	トキソウ	<i>Pogonia japonica</i> Rchb.f.	EX	EN	NT	48
ラン	ヤマトキソウ	<i>Pogonia minor</i> (Makino) Makino	EX	VU		49
ラン	クモラン	<i>Taeniophyllum glandulosum</i> Blume	EX			50
アヤメ	ノハナショウブ	<i>Iris ensata</i> Thunb. var. <i>spontanea</i> (Makino) Nakai	EN			171
ススキノキ	キスゲ	<i>Hemerocallis citrina</i> Baroni var. <i>vespertina</i> (H.Hara) M.Hotta	CR			127
ススキノキ	ノカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>longituba</i> (Miq.) Maxim.	CR			128
ヒガンバナ	ヤマラッキョウ	<i>Allium thunbergii</i> G.Don	NT			296
キジカクシ	キヨスミギボウシ	<i>Hosta kiyosumiensis</i> F.Maek.	VU			231
キジカクシ	オオバギボウシ	<i>Hosta montana</i> F.Maek.	EX			51
キジカクシ	コバギボウシ	<i>Hosta sieboldii</i> (Paxton) J.W.Ingram form. <i>spathulata</i> (Miq.) W.G.Schmid	VU			232
キジカクシ	ナルコユリ	<i>Polygonatum falcatum</i> A.Gray	EX			52
キジカクシ	ミヤマナルコユリ	<i>Polygonatum lasianthum</i> Maxim.	EN			172
ミズアオイ	ミズアオイ	<i>Monochoria korsakowii</i> Regel et Maack	EX	CR	NT	53
ガマ	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i> L.	CR	VU	NT	129
ガマ	ヤマトミクリ	<i>Sparganium fallax</i> Graebn.	EN	NT	NT	173
ガマ	ナガエミクリ	<i>Sparganium japonicum</i> Rothert	VU	国リスト	NT	233
ホシクサ	オオホシクサ	<i>Eriocaulon buergerianum</i> Körn.	EX	CR		54
ホシクサ	ツクシクロイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon kiusianum</i> Maxim.	EN	NT	VU	174
ホシクサ	シラタマホシクサ	<i>Eriocaulon nudicuspe</i> Maxim.	EN	VU	VU	175
ホシクサ	クロホシクサ	<i>Eriocaulon parvum</i> Körn.	EX	EN	VU	55
イグサ	ヒメコウガイゼキショウ	<i>Juncus bufonius</i> L.	NT			297
イグサ	ヌカボシソウ	<i>Luzula plumosa</i> E.Mey. var. <i>macrocarpa</i> (Buchenau) Ohwi	EX			56
カヤツリグサ	イセウキヤガラ	<i>Bolboschoenus planiculmis</i> (F.Schmidt) T.V.Egorova	EN			176
カヤツリグサ	イトハナビテンツキ	<i>Bulbostylis densa</i> (Wall.) Hand.-Mazz.	EX			57
カヤツリグサ	ミノボロスゲ	<i>Carex albata</i> Boott	EN	VU		177
カヤツリグサ	ショウジョウスゲ	<i>Carex blepharicarpa</i> Franch.	NT			298
カヤツリグサ	ケタガネソウ	<i>Carex ciliato-marginata</i> Nakai	CR			130
カヤツリグサ	ピロードスゲ	<i>Carex fedia</i> Nees var. <i>miyabei</i> (Franch.) T.Koyama	VU			235
カヤツリグサ	ハマアオスゲ	<i>Carex fibrillosa</i> Franch. et Sav.	EN			178
カヤツリグサ	ツクバスゲ	<i>Carex hirtifructus</i> Kük.	VU			234
カヤツリグサ	ウマスゲ	<i>Carex idzuroei</i> Franch. et Sav.	CR			131
カヤツリグサ	センダイスゲ	<i>Carex lenta</i> D.Don var. <i>sendaica</i> (Franch.) T.Koyama	EN	VU		179
カヤツリグサ	シオクグ	<i>Carex scabrifolia</i> Steud.	NT			299
カヤツリグサ	アズマナルコ	<i>Carex shimidzensis</i> Franch.	EN			180
カヤツリグサ	ニシノホンモンジスゲ	<i>Carex stenostachys</i> Franch. et Sav.	CR	VU		132
カヤツリグサ	ヒメアオガヤツリ	<i>Cyperus extremiorientalis</i> Ohwi	CR	CR		133
カヤツリグサ	ヒメガヤツリ	<i>Cyperus tenuispica</i> Steud.	EN	VU		181
カヤツリグサ	セイタカハリイ	<i>Eleocharis attenuata</i> (Franch. et Sav.) Palla	CR	VU		134
カヤツリグサ	イソヤマテンツキ	<i>Fimbristylis ferruginea</i> (L.) Vahl var. <i>sieboldii</i> (Miq.) Ohwi	VU			236
カヤツリグサ	トネテンツキ	<i>Fimbristylis stauntonii</i> Debeaux et Franch. var. <i>tonensis</i> (Makino) T.Koyama	CR	VU	VU	135
カヤツリグサ	ミクリガヤ	<i>Rhynchospora malasica</i> C.B.Clark	EX	CR	EN	58
カヤツリグサ	イガクサ	<i>Rhynchospora rubra</i> (Lour.) Makino	EN			182
カヤツリグサ	シズイ	<i>Schoenoplectus nipponicus</i> (Makino) Soják	EX	VU		59
カヤツリグサ	ノグサ	<i>Schoenus apogon</i> Roem. et Schult.	EX	EN		60
カヤツリグサ	マツカサススキ	<i>Scirpus mitsukurianus</i> Makino	EN			183
カヤツリグサ	カガシラ	<i>Scleria caricina</i> (R.Br.) Benth.	EX	CR	VU	61
カヤツリグサ	ミカワシンジュガヤ	<i>Scleria mikawana</i> Makino	EX	VU	VU	62
カヤツリグサ	コシンジュガヤ	<i>Scleria parvula</i> Steud.	EX			63
イネ	ヒメコスカグサ	<i>Agrostis valvata</i> Steud.	NT	国リスト	NT	300
イネ	アズマガヤ	<i>Asperella longe-aristata</i> (Hack.) Ohwi	VU			238
イネ	ヒナザサ	<i>Coelachne japonica</i> Hack.	EX	VU	NT	64
イネ	ヒメタイヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) P.Beauv. var. <i>formosensis</i> Ohwi	CR	EN		136
イネ	ヌマカゼクサ	<i>Eragrostis aquatica</i> Honda	VU			237
イネ	コゴメカゼクサ	<i>Eragrostis japonica</i> (Thunb.) Trin.	EX	VU		65
イネ	ウンヌケ	<i>Eulalia speciosa</i> (Debeaux) Kuntze	EN	NT	VU	184
イネ	コウボウ	<i>Hierochloa odorata</i> (L.) P.Beauv. var. <i>pubescens</i> Krylov	CR			137
イネ	アシカキ	<i>Leercia japonica</i> Makino	NT			301
イネ	サヤヌカグサ	<i>Leersia sayanuka</i> Ohwi	VU			239
イネ	コメガヤ	<i>Melica nutans</i> L.	EX			66
イネ	スズメノコビエ	<i>Paspalum scrobiculatum</i> L. var. <i>orbiculatum</i> (G.Forst.) Hack.	NT			302
イネ	ウキシバ	<i>Pseudoraphis ukishiba</i> Ohwi	NT	NT		303
イネ	ワセオバナ	<i>Saccharum spontaneum</i> L. var. <i>arenicola</i> (Ohwi) Ohwi	VU			240
イネ	シダミコザサ	<i>Sasa samaniiana</i> Nakai var. <i>yoshinoi</i> (Koidz.) S.Suzuki form. <i>hidejiroana</i> (Koidz.) S.Suzuki	VU	VU		241
イネ	オオアブラススキ	<i>Spodiopogon sibiricus</i> Trin.	EX			67
メギ	ヘビノボラズ	<i>Berberis sieboldii</i> Miq.	VU	NT		242
メギ	ヒメイカリソウ	<i>Epimedium youngianum</i> Fisch. et C.A.Mey.	CR			138
キンボウゲ	カザグルマ	<i>Clematis patens</i> C.Morren et Decne.	CR	EN	NT	139
キンボウゲ	クサボタン	<i>Clematis stans</i> Sieb. et Zucc.	EX	VU		68
キンボウゲ	スハマソウ	<i>Hepatica nobilis</i> Schreb. var. <i>japonica</i> Nakai form. <i>variegata</i> (Makino) Kitam.	CR	NT	NT	140
キンボウゲ	オキナグサ	<i>Pulsatilla cernua</i> (Thunb.) Bercht. et C.Presl	EX	CR	VU	69
キンボウゲ	ウマノアシガタ	<i>Ranunculus japonicus</i> Thunb.	VU			243
キンボウゲ	オトコゼリ	<i>Ranunculus tachiroei</i> Franch. et Sav.	EX			70
マンサク	マンサク	<i>Hamamelis japonica</i> Sieb. et Zucc.	NT			304

科名	種名	学名	市2015	県2015	国2014	掲載頁
スグリ	ヤブサンザシ	<i>Ribes fasciculatum</i> Sieb. et Zucc.	EN	VU		186
ユキノシタ	チダケサシ	<i>Astilbe microphylla</i> Knoll	EX			71
ベンケイソウ	ツメレンゲ	<i>Orostachys japonicus</i> (Maxim.) A. Berger	VU	NT	NT	244
アリノトウグサ	オグラノフサモ	<i>Myriophyllum oguraense</i> Miki	国・県リスト	CR	VU	330
アリノトウグサ	ホザキノフサモ	<i>Myriophyllum spicatum</i> L.	EN			185
アリノトウグサ	タチモ	<i>Myriophyllum ussuriense</i> (Regel) Maxim.	CR	NT	NT	141
マメ	ホドイモ	<i>Apios fortunei</i> Maxim.	VU			245
マメ	カワラケツメイ	<i>Cassia nomame</i> (Makino) Honda	VU			246
マメ	タヌキマメ	<i>Crotalaria sessiliflora</i> L.	VU			247
マメ	ハマエンドウ	<i>Lathyrus japonicus</i> Willd.	VU			248
マメ	キハギ	<i>Lespedeza buergeri</i> Miq.	EN			187
マメ	シベリアメドハギ	<i>Lespedeza juncea</i> (L.f.) Pers.	EN			188
マメ	イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i> (Thunb.) Sieb. ex Maxim.	CR	VU	VU	142
マメ	マキエハギ	<i>Lespedeza virgata</i> (Thunb.) DC.	EN			189
ヒメハギ	ヒナノカンザシ	<i>Salomonina oblongifolia</i> DC.	EN			190
バラ	オオウラジロノキ	<i>Malus tschonoskii</i> (Maxim.) C.K.Schneid.	VU			249
バラ	カワラサイコ	<i>Potentilla chinensis</i> Ser.	EN	VU		191
バラ	キジムシロ	<i>Potentilla fragarioides</i> L. var. <i>major</i> Maxim.	EX			72
バラ	ワタゲカマツカ	<i>Pourthiaea villosa</i> (Thunb.) Decne.	NT			305
バラ	マメナシ	<i>Pyrus calleryana</i> Decne.	EN	CR	EN	192
バラ	ミヤマワレモコウ	<i>Sanguisorba longifolia</i> Bertol.	EX	EN		73
バラ	シモツケ	<i>Spiraea japonica</i> L.f.	EX			74
グミ	アリマグミ	<i>Elaeagnus murakamiana</i> Makino	EX	VU		75
クロウメモドキ	クロウメモドキ	<i>Rhamnus japonica</i> Maxim. var. <i>decipiens</i> Maxim.	EX			76
イラクサ	コアカソ	<i>Boehmeria spicata</i> (Thunb.) Thunb.	NT			306
イラクサ	ミヤコミズ	<i>Pilea kiotensis</i> Ohwi	CR	CR		143
ブナ	ナラガシワ	<i>Quercus aliena</i> Blume	県リスト	EN		331
ブナ	フモトミズナラ	<i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>mongolicoides</i> (H. Ohba) Seriz.	VU	NT		251
ブナ	ウラジロガシ	<i>Quercus salicina</i> Blume	VU			250
ヤマモモ	ヤチヤナギ	<i>Gale belgica</i> Duham. var. <i>tomentosa</i> (C.DC.) T.Yamaz.	県リスト	CR		332
カバノキ	カワラハンノキ	<i>Alnus serrulata</i> Callier	VU			252
カバノキ	サクラバハンノキ	<i>Alnus trabeculosa</i> Hand.-Mazz.	NT	国リスト	NT	307
ウリ	ゴキヅル	<i>Actinostemma lobatum</i> Maxim. ex Franch. et Sav.	VU			253
ニシキギ	ウメバチソウ	<i>Parnassia palustris</i> L. var. <i>multiseta</i> Ledeb.	CR			144
トウダイグサ	タカトウダイ	<i>Euphorbia pekinensis</i> Rupr.	EX			77
ミカンソウ	ヒトツバハギ	<i>Securinega suffruticosa</i> (Pall.) Rehder var. <i>japonica</i> (Miq.) Hurus.	CR			145
ヤナギ	ヤマネコヤナギ	<i>Salix bakko</i> Kimura	EN			193
ヤナギ	キヌヤナギ	<i>Salix kinuyanagi</i> Kimura	VU	NT		254
スミレ	ケイリュウタチツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i> A.Gray var. <i>ripensis</i> N.Yamada et M.Okamoto	NT			308
スミレ	アギスミレ	<i>Viola verecunda</i> A.Gray var. <i>semilunaris</i> Maxim.	VU			255
オトギリソウ	サワオトギリ	<i>Hypericum pseudopetiolatum</i> R.Keller	VU			256
ミソハギ	ヒメミソハギ	<i>Ammannia multiflora</i> Roxb.	CR			146
ミソハギ	ミズスギナ	<i>Rotala hippuris</i> Makino	EX	EX	CR	78
ミソハギ	ミズマツバ	<i>Rotala mexicana</i> Cham. et Schltldl.	国リスト	国リスト	VU	333
ミソハギ	ヒメビシ	<i>Trapa incisa</i> Sieb. et Zucc.	CR	EN	VU	147
アカバナ	ウスゲチョウジタデ	<i>Ludwigia greatrexii</i> H.Hara	VU	国リスト	NT	257
アカバナ	ミズユキノシタ	<i>Ludwigia ovalis</i> Miq.	NT			309
ミカン	コクサギ	<i>Orixa japonica</i> Thunb.	EN			194
ニガキ	ニガキ	<i>Picrasma quassioides</i> (D.Don) Benn.	EN			195
アオイ	ハマボウ	<i>Hibiscus hamabo</i> Sieb. et Zucc.	EX	VU		79
ジンチョウゲ	ガンピ	<i>Diplomorpha sikokiana</i> (Franch. et Sav.) Honda	VU			258
ジンチョウゲ	コガンピ	<i>Diplomorpha ganpi</i> (Sieb. et Zucc.) Nakai	EX			80
アブラナ	ミズタガラシ	<i>Cardamine lyrata</i> Bunge	EN	NT		196
アブラナ	コイヌガラシ	<i>Rorippa cantoniensis</i> (Lour.) Ohwi	VU	国リスト	NT	259
アブラナ	ハタザオ	<i>Turritis glabra</i> L.	EN			197
タデ	サクラタデ	<i>Persicaria conspicua</i> (Nakai) Nakai	NT			310
タデ	ナガバノウナギツカミ	<i>Persicaria hastatosagittata</i> (Makino) Nakai	VU	NT	NT	260
タデ	コミゾソバ	<i>Persicaria mikawana</i> Hanai et Seriz.	EX	NT		81
タデ	タニソバ	<i>Persicaria nepalensis</i> (Meisn.) H.Gross	EX			82
タデ	ウナギツカミ	<i>Persicaria sieboldii</i> (Meisn.) Ohki var. <i>aestiva</i> (Ohki) Okuyama	VU			261
タデ	アキノミチヤナギ	<i>Polygonum polyneuron</i> Franch. et Sav.	VU			262
タデ	コギシギシ	<i>Rumex nipponicus</i> Franch. et Sav.	VU	国リスト	VU	263
モウセンゴケ	ナガバノイシモチソウ	<i>Drosera indica</i> L.	EX	CR	VU	83
モウセンゴケ	イシモチソウ	<i>Drosera peltata</i> Thunb. var. <i>nipponica</i> (Masam.) Ohwi	CR	EN	NT	148
モウセンゴケ	モウセンゴケ	<i>Drosera rotundifolia</i> L.	NT			311
ナデシコ	カワラナデシコ	<i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>longicalycinus</i> (Maxim.) F.N.Williams	NT			312
ヒユ	ヤナギイノコヅチ	<i>Achyranthes longifolia</i> (Makino) Makino	VU			264
ヒユ	ホソバハマアカザ	<i>Atriplex gmelinii</i> C.A.Mey	NT			313
ヒユ	ハマアカザ	<i>Atriplex subcordata</i> Kitag.	EX	VU		84
アジサイ	コアジサイ	<i>Hydrangea hirta</i> (Thunb.) Sieb. et Zucc.	NT			314
アジサイ	コガクウツギ	<i>Hydrangea luteo-venosa</i> Koidz.	CR	EN		149
アジサイ	イワガラミ	<i>Schizophragma hydrangeoides</i> Sieb. et Zucc.	CR			150
サクラソウ	クサレダマ	<i>Lysimachia vulgaris</i> L. var. <i>davurica</i> (Ledeb.) R.Knuth	EN			198
ハイノキ	クロミノニシゴリ	<i>Symplocos paniculata</i> (Thunb.) Miq.	NT			315
マタタビ	マタタビ	<i>Actinidia polygama</i> (Siebold et Zucc.) Planch. ex Maxim.	VU			265
ツツジ	ギンリョウソウモドキ	<i>Monotropa uniflora</i> L.	VU			266
ツツジ	ギンリョウソウ	<i>Monotropastrum humile</i> (D.Don) H.Hara	EX			85
ツツジ	イチヤクソウ	<i>Pyrola japonica</i> Klenze	VU			267
ツツジ	レンゲツツジ	<i>Rhododendron japonicum</i> (A.Gray) Suringar	EX			86

科名	種名	学名	市2015	県2015	国2014	掲載頁
アカネ	ホソバニセジュズネノキ	<i>Damnacanthus indicus</i> C.F.Gaertn. subsp. <i>major</i> (Sieb. et Zucc.) T.Yamaz. var. <i>lancifolius</i> Makino	VU			268
アカネ	キクムグラ	<i>Galium kikumugura</i> Ohwi	EN	NT		199
アカネ	ヤマムグラ	<i>Galium pogonanthum</i> Franch. et Sav.	EX			87
アカネ	ホソバノヨツバムグラ	<i>Galium trifidum</i> L. var. <i>brevipedunculatum</i> Regel	VU			269
リンドウ	リンドウ	<i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim.	EN			200
リンドウ	コケリンドウ	<i>Gentiana squarrosa</i> Ledeb.	CR	VU		151
リンドウ	イヌセンブリ	<i>Swertia diluta</i> (Turcz.) Benth. et Hook.f. var. <i>tosaensis</i> (Makino) H.Hara	EN	NT	VU	201
キョウチクトウ	クサナギオゴケ	<i>Cynanchum katoi</i> Ohwi	EX	NT	VU	88
キョウチクトウ	スズサイコ	<i>Cynanchum paniculatum</i> (Bunge) Kitag.	CR	国リスト	NT	152
キョウチクトウ	コカモメヅル	<i>Tylophora floribunda</i> Miq.	EX			89
ムラサキ	ホタルカズラ	<i>Lithospermum zollingeri</i> A.DC.	EX	EN		90
ヒルガオ	ネナシカズラ	<i>Cuscuta japonica</i> Choisy	NT			316
ナス	マルバノホロシ	<i>Solanum maximowiczii</i> Koidz.	EN			202
オオバコ	オオアブノメ	<i>Gratiola japonica</i> Miq.	EN	VU	VU	203
オオバコ	イヌノフグリ	<i>Veronica didyma</i> Ten. var. <i>lilacina</i> (H.Hara) T.Yamaz.	NT	国リスト	VU	317
オオバコ	カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i> Wall.	国リスト	国リスト	NT	334
ゴマノハグサ	オオヒナノウスツボ	<i>Scrophularia kakudensis</i> Franch.	EX			91
シソ	ケブカツルカソウ	<i>Ajuga shikotanensis</i> Miyabe et Tatew. form. <i>hirsuta</i> (Honda) Murata	EX	EN		92
シソ	ヤブムラサキ	<i>Callicarpa mollis</i> Sieb. et Zucc.	VU			270
シソ	ミズネコノオ	<i>Eusteralis stellata</i> (Lour.) Murata	EX	EN	NT	93
シソ	ミズトラノオ	<i>Eusteralis yatabeana</i> (Makino) Murata	EX	VU	VU	94
シソ	ヤマハッカ	<i>Isodon inflexus</i> (Thunb.) Kudô	EN			204
シソ	オドリコソウ	<i>Lamium album</i> L. var. <i>barbatum</i> (Sieb. et Zucc.) Franch. et Sav.	EN			205
シソ	ハッカ	<i>Mentha arvensis</i> L. var. <i>piperascens</i> Malinv.	VU			271
シソ	シマジタムラソウ	<i>Salvia isensis</i> Nakai ex H.Hara	CR	NT	VU	153
シソ	マジコウジュ	<i>Salvia plebeia</i> R.Br.	VU	国リスト	NT	272
シソ	オカタツナミソウ	<i>Scutellaria brachyspica</i> Nakai et H.Hara	EN			206
シソ	タツナミソウ	<i>Scutellaria indica</i> L.	VU			273
シソ	イガタツナミ	<i>Scutellaria kurokawae</i> H.Hara	EN			207
シソ	シソバタツナミ	<i>Scutellaria laeteviolacea</i> Koidz.	VU			274
シソ	イヌゴマ	<i>Stachys riederi</i> Cham. var. <i>intermedia</i> (Kudô) Kitam.	NT			318
シソ	ニガクサ	<i>Teucrium japonicum</i> Houtt.	EN			208
ハマウツボ	ナンバンギセル	<i>Aeginetia indica</i> L.	NT			319
ハマウツボ	コシオガマ	<i>Phtheirospermum japonicum</i> (Thunb.) Kanitz	CR			154
タヌキモ	ノタヌキモ	<i>Utricularia aurea</i> Lour.	EX	VU	VU	95
タヌキモ	イヌタヌキモ	<i>Utricularia australis</i> R.Br.	NT	国リスト	NT	320
タヌキモ	ミミカキグサ	<i>Utricularia bifida</i> L.	NT			321
タヌキモ	フサタヌキモ	<i>Utricularia dimorphantha</i> Makino	EX	EX	EN	96
タヌキモ	ミカワタヌキモ	<i>Utricularia exoleta</i> R.Br.	EX	EN	VU	97
タヌキモ	コタヌキモ	<i>Utricularia intermedia</i> Heyne	EX	CR		98
タヌキモ	ヒメミミカキグサ	<i>Utricularia minutissima</i> Vahl	EX	EN	EN	99
タヌキモ	ホザキノミミカキグサ	<i>Utricularia racemosa</i> Wall.	NT			322
タヌキモ	ムラサキミミカキグサ	<i>Utricularia uliginosa</i> Vahl	CR	NT	NT	155
モチノキ	タマミズキ	<i>Ilex micrococca</i> Maxim.	VU			275
キキョウ	ツルニンジン	<i>Codonopsis lanceolata</i> (Sieb. et Zucc.) Trautv.	EX			100
キキョウ	サワギキョウ	<i>Lobelia sessilifolia</i> Lamb.	VU			276
キキョウ	タニギキョウ	<i>Peracarpa carnosa</i> (Wall.) Hook.f. et Thomson var. <i>circaeoides</i> (F.Schmidt) Makino	VU			277
キキョウ	キキョウ	<i>Platycodon grandiflorum</i> (Jacq.) A.DC.	CR	VU	VU	156
ミツガシワ	ガガブタ	<i>Nymphoides indica</i> (L.) Kuntze	VU	NT	NT	278
ミツガシワ	アサザ	<i>Nymphoides peltata</i> (S.G.Gmel.) Kuntze	国・県リスト	EN	NT	335
キク	スマダイコン	<i>Adenostemma lavenia</i> (L.) Kuntze	EN			209
キク	オクモミジハグマ	<i>Ainsliaea acerifolia</i> Sch.Bip. var. <i>subapoda</i> Nakai	VU			279
キク	キッコウハグマ	<i>Ainsliaea apiculata</i> Sch.Bip.	VU			280
キク	カワラハハコ	<i>Anaphalis margaritacea</i> (L.) Benth. et Hook.f. subsp. <i>yedoensis</i> (Franch. et Sav.) Kitam.	VU			281
キク	カワランニンジン	<i>Artemisia apiacea</i> Hance	NT			323
キク	イナカギク	<i>Aster ageratoides</i> Turcz. subsp. <i>amplexifolius</i> (Sieb. et Zucc.) Kitam.	EN			210
キク	ヒメシオン	<i>Aster fastigiatus</i> Fisch.	EX	VU		101
キク	ヤマジノギク	<i>Aster hispidus</i> Thunb.	EX	CR		102
キク	ウラギク	<i>Aster tripolium</i> L.	EN	国リスト	NT	211
キク	オケラ	<i>Atractylodes japonica</i> Koidz. ex Kitam.	EN			212
キク	コヤブタバコ	<i>Carpesium cernuum</i> L.	EX			103
キク	ムラサキトキンソウ	<i>Centipeda</i> sp.	VU	NT		282
キク	キセルアザミ	<i>Cirsium sieboldii</i> Miq.	NT			324
キク	リュウノウギク	<i>Dendranthema japonicum</i> (Makino) Kitam.	EX			104
キク	アキノハハコグサ	<i>Gnaphalium hypoleucum</i> DC.	EX	EN	EN	105
キク	オグルマ	<i>Inula britannica</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Thunb.) Kitam.	VU			283
キク	ミズギク	<i>Inula ciliaris</i> (Miq.) Maxim.	EN	NT		213
キク	カセンソウ	<i>Inula salicina</i> L. var. <i>asiatica</i> Kitam.	EX	EN		106
キク	ムラサキニガナ	<i>Lactuca sororia</i> Miq.	VU			284
キク	カシワバハグマ	<i>Pertya robusta</i> (Maxim.) Makino	EN			214
キク	オナモミ	<i>Xanthium strumarium</i> L.	EX	CR	VU	107
レンブクソウ	オオカメノキ	<i>Viburnum furcatum</i> Blume ex Maxim.	VU			285
レンブクソウ	ハクサンボク	<i>Viburnum japonicum</i> (Thunb.) Spreng.	県リスト	VU		336
スイカズラ	オミナエシ	<i>Patrinia scabiosaefolia</i> Fisch.	CR			157
スイカズラ	オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i> (Thunb.) Juss.	EX			108
スイカズラ	タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i> (Sieb. et Zucc.) K.Koch	EN			215
ウコギ	オカウコギ	<i>Acanthopanax japonicus</i> Franch. et Sav.	NT			325

科名	種名	学名	市2015	県2015	国2014	掲載頁
セリ	ノダケ	<i>Angelica decursiva</i> (Miq.) Franch. et Sav.	VU			286
セリ	ムカゴニンジン	<i>Sium ninsi</i> L.	VU			287

(2) コケ植物

科の範囲、名称、配列は「日本の野生植物 コケ」(岩月善之助著, 2001年, 平凡社)に準拠した。

科内の配列については、学名のアルファベット順とした。

区分	科名	種名	学名	市2015	県2015	国2014	掲載頁
蘚類	ミズゴケ	ハリミズゴケ	<i>Shagnum cuspidatum</i> Ehrh. ex Hofm.	VU	VU		341
蘚類	ミズゴケ	コアナミズゴケ	<i>Sphagnum microporum</i> Warnst. ex Card.	NT			344
蘚類	ミズゴケ	オオミズゴケ	<i>Sphagnum palustre</i> L.	NT	NT	NT	345
蘚類	ミズゴケ	イボミズゴケ	<i>Sphagnum papillosum</i> Lindb.	NT	NT		346
蘚類	ミズゴケ	ユガミミズゴケ	<i>Sphagnum subsecundum</i> Nees ex Sturm	NT			347
蘚類	イクビゴケ	イクビゴケ	<i>Diphygium fulvifolium</i> Mitt.	NT			348
蘚類	スギゴケ	ハミズゴケ	<i>Pogonatum spinulosum</i> Mitt.	NT			349
蘚類	スギゴケ	ウマスギゴケ	<i>Polytrichum commune</i> Hedw.	NT			350
蘚類	シッポゴケ	ツリバリゴケモドキ	<i>Bryohumbertia subcomosa</i> (Dix.) Frahm	NT			351
蘚類	シッポゴケ	イクタマユハケゴケ	<i>Campylopus gemmiparus</i> Z.Iwats. et al.	NT			352
蘚類	シッポゴケ	シッポゴケ	<i>Dicranum japonicum</i> Mitt.	NT			353
蘚類	シッポゴケ	カモジゴケ	<i>Dicranum scoparium</i> Hedw.	NT			354
蘚類	アブラゴケ	イバラゴケ(ケムシゴケ)	<i>Calyptrochaeta japonica</i> (Card. et Thér.) Z.Iwats. et Nog.	VU	VU		342
蘚類	ヤナギゴケ	ヤナギゴケ	<i>Leptodictyum riparium</i> (Hedw.) Warnst.	NT			355
苔類	タカサゴソコマメゴケ	タカサゴソコマメゴケ	<i>Jackiella javanica</i> Schiffn.	EX	EX		340
苔類	クサリゴケ	マルバヒメクサリゴケ	<i>Cololejeunea minutissima</i> (Sm.) Schiffn.	VU	VU		343
苔類	ゼニゴケ	ゼニゴケ	<i>Marchantia polymorpha</i> L.	NT			356
苔類	ウキゴケ	ウキゴケ	<i>Riccia fluitans</i> L.	NT	VU		357
苔類	ウキゴケ	イチョウウキゴケ	<i>Ricciocarpos natans</i> (L.) Corda	NT	NT	NT	358

Threatened Wildlife of Nagoya City

RED DATA BOOK NAGOYA 2015

- Plants -

April 2015

Edited by

City of Nagoya Environmental Affairs Bureau
Environmental Planning Department Environmental Activities Promotion Division

Published by

City of Nagoya Environmental Affairs Bureau
Environmental Planning Department Environmental Activities Promotion Division

1-1, Sannomaru 3-chome, Naka-ku, Nagoya 460-8508 Japan

TEL: 052-831-8104

FAX: 052-839-1695

名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物

レッドデータブックなごや 2015

- 植物編 -

発行年月 平成 27 年 4 月

編集 名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課

発行 名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 1 号

TEL: 052-831-8104

FAX: 052-839-1695

本書に収録した写真は、著作者の了解を得て複製したものです。
私的使用又は引用等著作権法上認められた行為を除き、
著作者に無断で再複製を行うことはできません。



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用

この冊子は古紙を含む用紙（総合評価 80 以上）を使用しています。



Threatened Wildlife of Nagoya City
RED DATA BOOK NAGOYA 2015
Plants
